

**広域鹿嶋 RDF センター解体撤去工事
ダイオキシン類調査結果**

鹿島地方事務組合 広域鹿嶋RDFセンター 御中

7ダイオキシン類調査業務委託(広域鹿嶋RDFセンター)

- ・ No1乾燥機炉体 ダイオキシン類
 - ・ No2乾燥機炉体 ダイオキシン類
- (2025年6月25日 採取)

2025年7月29日

計量証明事業所登録番号
濃度 茨城県第34号
音圧レベル 茨城県第27号
振動加速度レベル 茨城県第19号
 **エアウォーターガスプロダクツ株式会社**
環境分析センター
〒314-0014 茨城県鹿嶋市大字光3番地
TEL 0299(84)3615 FAX 0299(83)8080

分析結果報告書

発行年月日：2025年7月18日

鹿島地方事務組合 管理者 石田 進様

試料管理番号：XG251145

作業指示書管理番号：WK25-01010

発行番号：DX2507143_1/2

特定計量証明事務所
府知事登録
計量証明事務所
府知事登録
作業環境測定
大日本労働基準局長登録
株式会社
タツキシンドウセンター
〒578-8585 東大阪市若宮町2丁目3番1号
TEL(06)6725-6588 FAX(06)6721-0773

計量管理者 高野雄真


分析結果を次の通り報告致します。

項目	単位	分析結果	分析方法
ダイオキシン類実測濃度	ng/g	1.7	特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物 に係る基準の検定方法・別表1 (平成4年 厚生省告示 第192号)
ダイオキシン類毒性等量	ng-TEQ/g	0.0013	

採取日時	2025年6月25日 14:30
採取場所	鹿嶋RDFセンター No.1乾燥機炉体
試料名	No.1乾燥機炉体
試料採取者	エア・ウォーター・ガスプロダクツ株式会社 様
分析期間	2025年6月27日～2025年7月18日
試料受付方法	持込
備考	

ダイオキシン類分析結果表

試料管理番号 : X G 2 5 1 1 4 5

発行番号 : D X 2 5 0 7 1 4 3 2/2

鹿嶋RDFセンター No.1乾燥機炉体

No.1乾燥機炉体

同族体・異性体		採取日	2025年6月25日		分類	その他
		実測濃度 (ng/g)	試料における 定量下限 (ng/g)	試料における 検出下限 (ng/g)	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ (ng-TEQ/g)
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	0.017	0.0010	0.0003	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	0.0072	0.0010	0.0003	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0010	0.0003	1	0
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.0012	0.0004	1	0
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.0008	*	0.0004	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.0020	*	0.0004	0.1	0.00020
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.0012	*	0.0009	0.1	0
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.051	0.0030	0.0009	0.01	0.00051
	OCDD	1.1	0.006	0.002	0.0003	0.00033
	1,2,7,8-TeCDF	0.0026	0.0012	0.0004	-	-
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	0.0023	0.0012	0.0004	0.1	0.00023
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.0010	*	0.0004	0.03	0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.0013	*	0.0004	0.3	0
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.0016	*	0.0009	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.0014	*	0.0009	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.0030	0.0009	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF ^{※1}	0.0023	*	0.0009	0.1	0
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.0054	0.0030	0.0009	0.01	0.000054
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.0015	0.0004	0.01	0
	OCDF	0.015	0.004	0.001	0.0003	0.0000045
PCDDs	TeCDDs	0.029	-	-	-	-
	PeCDDs	0.012	-	-	-	-
	HxCDDs	0.021	-	-	-	-
	HpCDDs	0.11	-	-	-	-
	OCDD	1.1	-	-	-	-
Total PCDDs		1.2	-	-	-	0.0010
PCDFs	TeCDFs	0.051	-	-	-	-
	PeCDFs	0.022	-	-	-	-
	HxCDFs	0.012	-	-	-	-
	HpCDFs	0.013	-	-	-	-
	OCDF	0.015	-	-	-	-
	Total PCDFs	0.11	-	-	-	0.00029
Total (PCDDs+PCDFs)		1.4	-	-	-	0.0013
DL-PCBs	3,4,4',5-TeCB(#81)	0.0026	*	0.0030	0.0009	0.0003
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	0.053	*	0.0013	0.0004	0.00001
	3,3',4,4',5-PeCB (#126)	0.0024	*	0.0030	0.0009	0.1
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.0015	0.0004	0.03	0
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	0.0066	0.0013	0.0004	0.00003	0.000000198
	2,3',4,4',5-PeCB (#118)	0.14	0.0030	0.0009	0.00003	0.0000042
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.068	0.0030	0.0009	0.00003	0.00000204
	2,3,4,4',5-PeCB (#114) ^{※2}	0.010	0.0030	0.0009	0.00003	0.0000030
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	0.0092	0.0030	0.0009	0.00003	0.00000276
	2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)	0.020	0.0013	0.0004	0.00003	0.00000060
Non-ortho PCBs	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.0059	0.0030	0.0009	0.00003	0.00000177
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.0020	0.0015	0.0004	0.00003	0.00000060
	Non-ortho PCBs	0.058	-	-	-	0.0000053
Mono-ortho PCBs	Mono-ortho PCBs	0.26	-	-	-	0.0000079
	Total DL-PCBs	0.32	-	-	-	0.000013
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		1.7	-	-	-	0.0013

備考 1) 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。

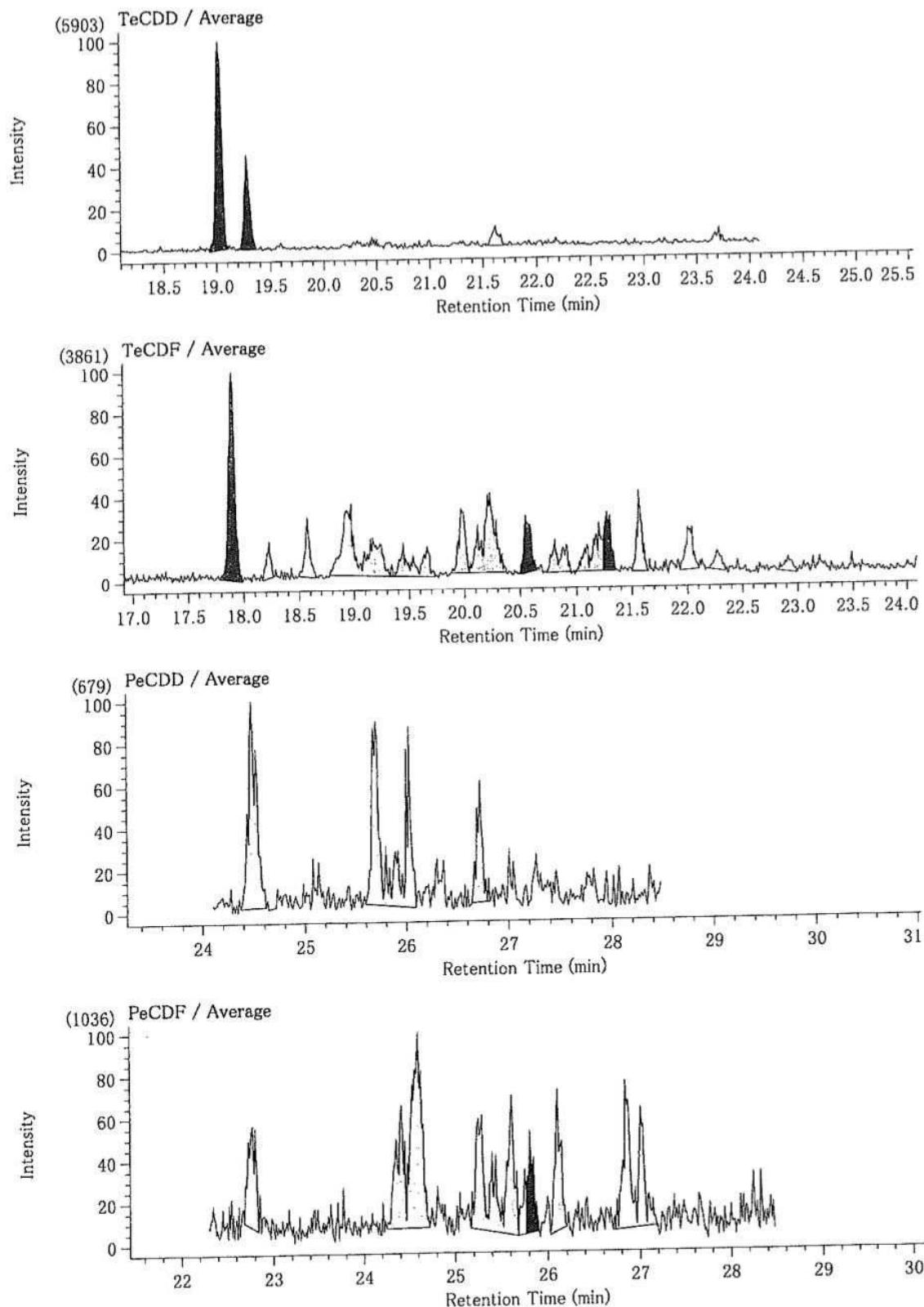
2) 実測濃度中の"ND"は、検出下限未満であることを示す。また、定量下限未満検出下限以上のものには、横に"*"と記入した。

3) 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。

※1 2, 3, 4, 6, 7, 8-HxCDFは1, 2, 3, 6, 8, 9-HxCDFを含む。 ※2 #114は#127を含む。

Compound View

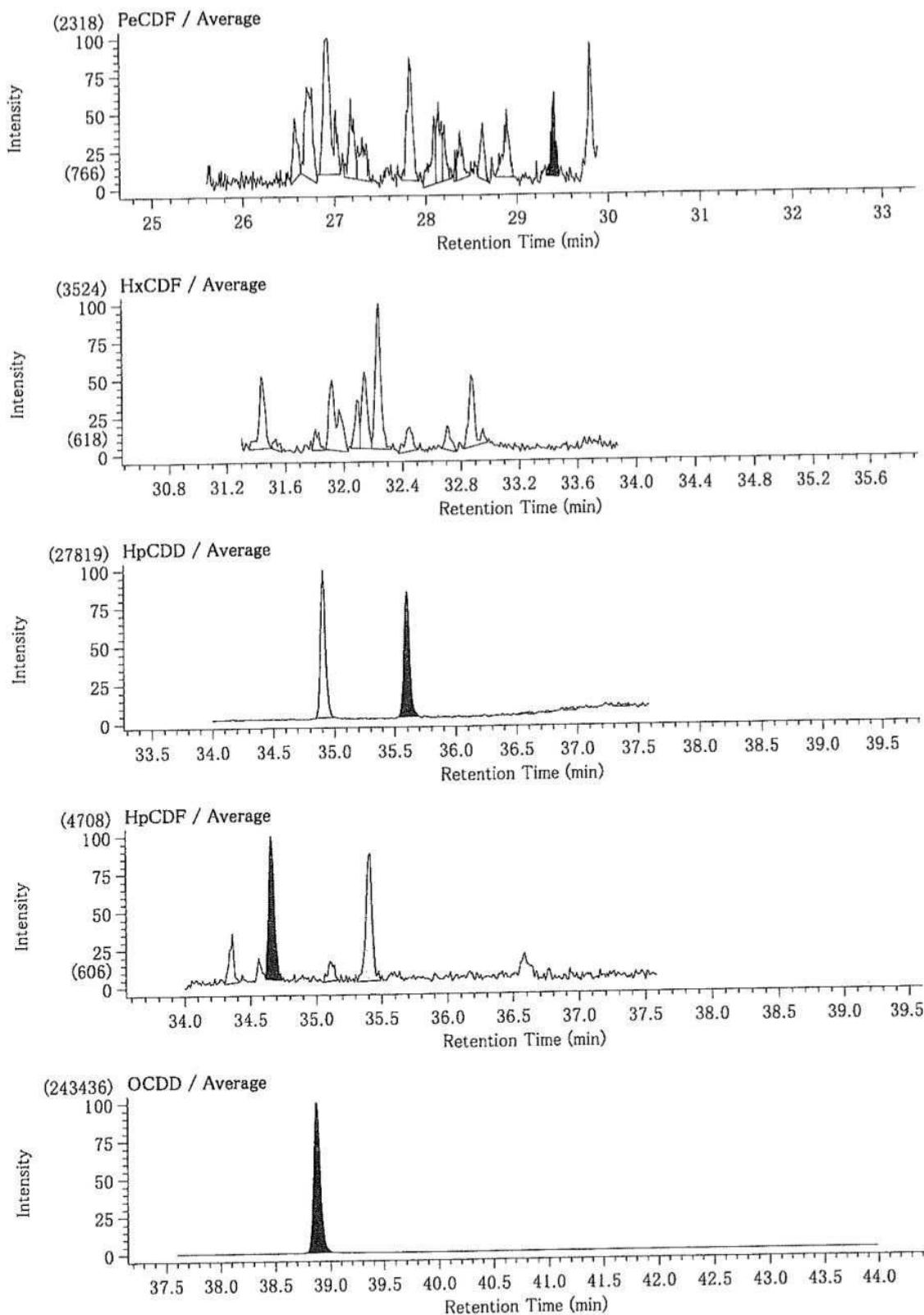
File: 250704-003.mfl/BPX-DXN
Sample# 19/XG25 1145/2025/7/5 2:50:25



Compound View

File:250707-001.mfl/RH12.ms

Sample# 16/XG25 1145/2025/7/7 21:41:42



分析結果報告書

発行年月日：2025年7月18日

鹿島地方事務組合 管理者 石田 進様

試料管理番号：XG251146

作業指示書管理番号：WK25-01010

発行番号：DX2507142_1/2

特定計量証明事業者登録
計量証明事業者登録
作業環境測定機関登録
株式会社
〒578-8585 東大阪市若原町1丁目3番1号
TEL(06)6725-6688 FAX(06)6721-0773

計量管理者 高野雄真


分析結果を次の通り報告致します。

項目	単位	分析結果	分析方法
ダイオキシン類実測濃度	ng/g	0.98	特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物 に係る基準の検定方法・別表1 (平成4年 厚生省告示 第192号)
ダイオキシン類毒性等量	ng-TEQ/g	0.00097	

採取日時	2025年6月25日 14:50
採取場所	鹿嶋RDFセンター No.2乾燥機炉体
試料名	No.2乾燥機炉体
試料採取者	エア・ウォーター・ガスプロダクツ株式会社 様
分析期間	2025年6月27日～2025年7月18日
試料受付方法	持込
備考	

ダイオキシン類分析結果表

試料管理番号 : X G 2 5 1 1 4 6

発行番号 : DX2507142 2/2

鹿嶋RDFセンター No.2乾燥機炉体						
No.2乾燥機炉体						
	同族体・異性体	採取日	2025年6月25日		分類	その他
		実測濃度 (ng/g)	試料における 定量下限 (ng/g)	試料における 検出下限 (ng/g)	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 TEQ (ng-TEQ/g)
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	0.016	0.0010	0.0003	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	0.0056	0.0010	0.0003	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0010	0.0003	1	0
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.0012	0.0003	1	0
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.0012	0.0003	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.0012	*	0.0015	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.0012	*	0.0029	0.1	0
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.020		0.0009	0.01	0.00020
	OCDD	0.47		0.006	0.002	0.0003
						0.000141
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	0.0016	0.0012	0.0003	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	0.0014	0.0012	0.0003	0.1	0.00014
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.0008	*	0.0013	0.0004	0.03
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.0012	*	0.0013	0.0004	0.3
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.0015	*	0.0029	0.0009	0.1
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.0015	*	0.0029	0.0009	0.1
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND		0.0029	0.0009	0.1
	2,3,4,6,7,8-HxCDF ^{※1}	0.0041		0.0029	0.0009	0.1
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.0064		0.0029	0.0009	0.01
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.0012	*	0.0015	0.0004	0.01
PCDDs	OCDF	0.006		0.004	0.001	0.0000018
	TeCDDs	0.027	-	-	-	-
	PeCDDs	0.011	-	-	-	-
	HxCDDs	0.018	-	-	-	-
	HpCDDs	0.044	-	-	-	-
	OCDD	0.47	-	-	-	-
Total PCDDs		0.57	-	-	-	0.00034
PCDFs	TeCDFs	0.041	-	-	-	-
	PeCDFs	0.023	-	-	-	-
	HxCDFs	0.014	-	-	-	-
	HpCDFs	0.012	-	-	-	-
	OCDF	0.006	-	-	-	-
	Total PCDFs	0.097	-	-	-	0.00062
Total (PCDDs+PCDFs)		0.67	-	-	-	0.00096
DL-PCBs	3,4,4',5-TeCB(#81)	0.0027	*	0.0029	0.0009	0.0003
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	0.075		0.0013	0.0004	0.0001
	3,3',4,4',5-PeCB (#126)	0.0028	*	0.0029	0.0009	0.1
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.0011	*	0.0015	0.0004	0.03
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	0.0051		0.0013	0.0004	0.00000153
	2,3',4,4',5-PeCB (#118)	0.13		0.0029	0.0009	0.000039
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.058		0.0029	0.0009	0.00003
	2,3,4,4',5-PeCB (#114) ^{※2}	0.0096		0.0029	0.0009	0.00003
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	0.0086		0.0029	0.0009	0.00003
	2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)	0.017		0.0013	0.0004	0.00003
Non-ortho PCBs	2,3,3',4,4',5-HxCB (#157)	0.0053		0.0029	0.0009	0.00003
	2,3,3',4,4',5-HpCB (#189)	0.0021		0.0015	0.0004	0.00003
	Non-ortho PCBs	0.081	-	-	-	0.000075
Mono-ortho PCBs		0.23	-	-	-	0.000071
Total DL-PCBs		0.31	-	-	-	0.000015
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		0.98	-	-	-	0.00097

備考 1) 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。

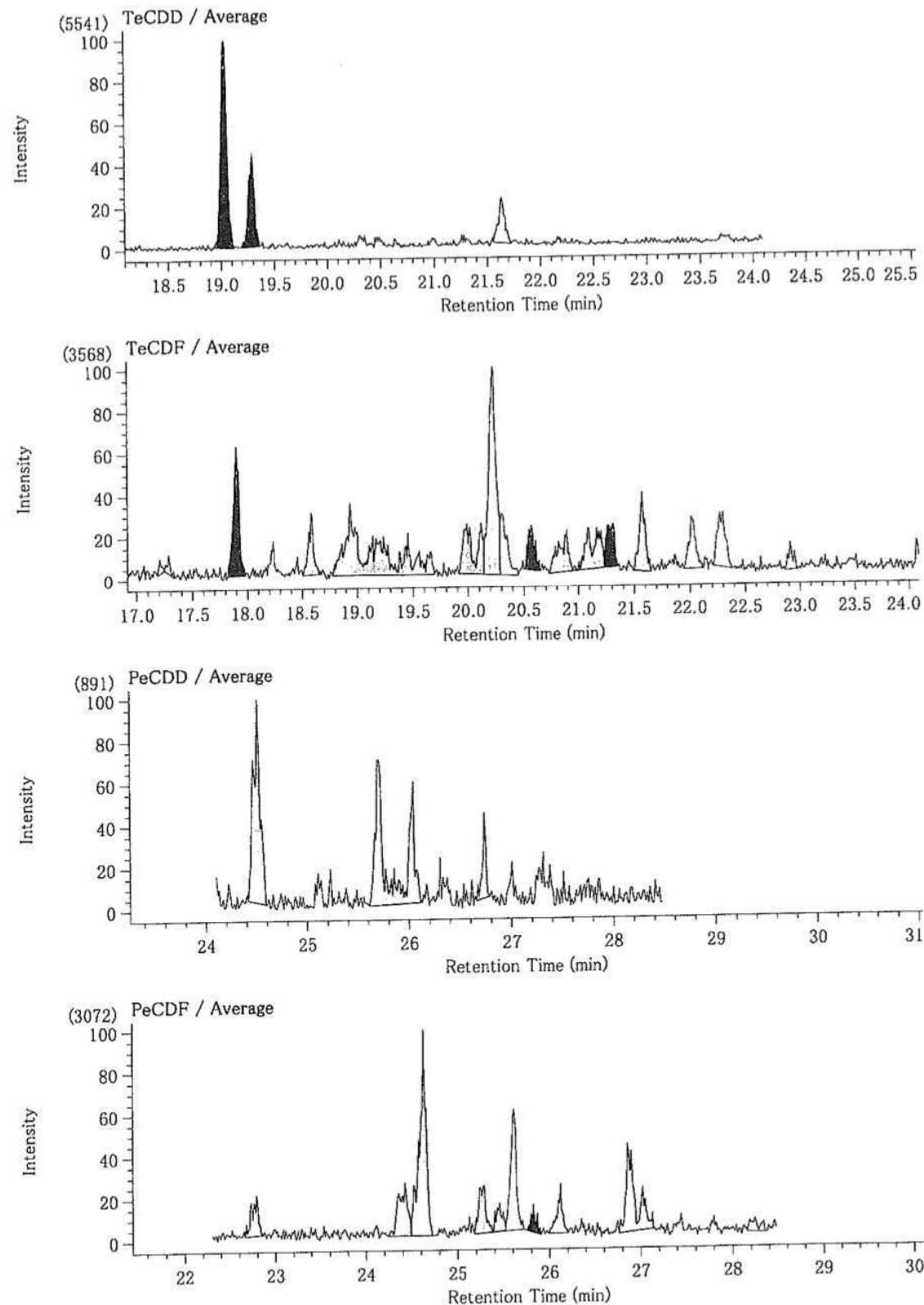
2) 実測濃度中の"ND"は、検出下限未満であることを示す。また、定量下限未満検出下限以上のものには、横に"*"と記入した。

3) 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。

※1 2, 3, 4, 6, 7, 8-HxCDFは1, 2, 3, 6, 8, 9-HxCDFを含む。 ※2 #114は#127を含む。

Compound View

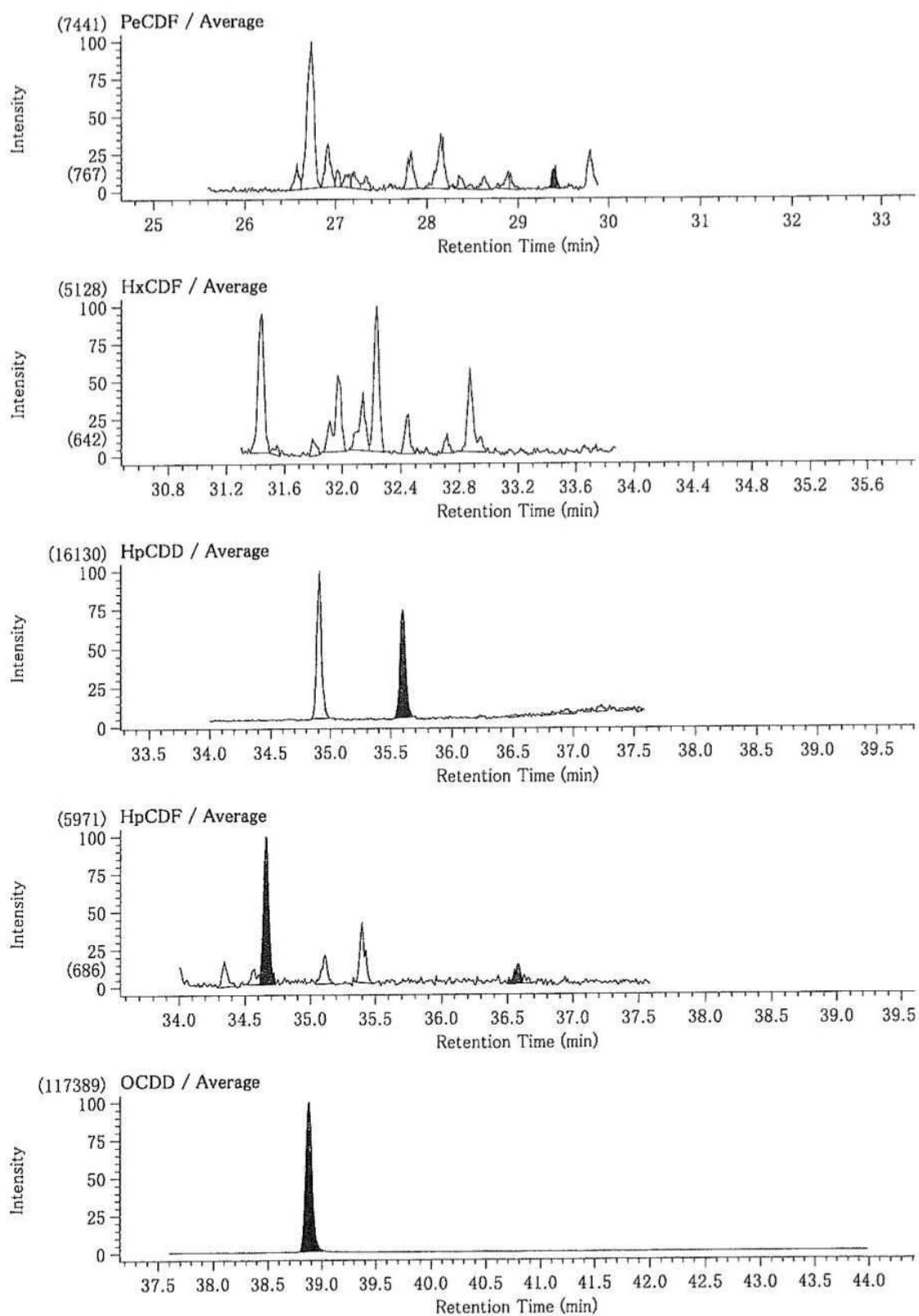
File: 250704-003.mfl/BPX-DXN
Sample# 20/XG25 1146/2025/7/5 3:32:46



Compound View

File:250707-001.mfl/RH12ms

Sample# 17/XG25 1146/2025/7/7 22:28:3



広域鹿嶋 RDF センター解体撤去工事
アスベスト事前調査結果

事前調査結果

本工事の実施に向けて、本組合にて令和7年3月にアスベストの事前調査を行っている。
事前調査結果を表1-1～1-6及び図1-6～1-24に示す。

◆表1-1 アスベストの分析結果（1）

鹿島地方事務組合 管理者 石田 進 様

報告書 E01008596901A

報告年月 2025年3月

事前調査等結果報告書

物件名称：6アスベスト調査業務委託（広域鹿嶋RDFセンター）

株式会社環境管理センター
ソリューション事業部
東京都八王子市散田町3-7-23
Tel 042-673-0503

事前調査の結果について、次の通り報告します。

事前調査を終了した年月日	2025 年 3 月 28 日			
調査方法	■ 設計図書調査	■ 目視調査	■ 試料採取	
建築物等の概要	建築物(棟)名称	工場棟		
	建築物所在地	茨城県鹿嶋市大字平井2264番地		
	構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他 / 木造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他		
	階数	地下 - 階 / 地上 3 階 / 塔屋 - 階		
	延べ面積	6,906.971 m ²	用途 ごみ処理施設	
	着工日	1999 年 9 月 1 日		
	竣工年	2001 年	増改築・改修の履歴 -	
	増築年	- 年	改築・改修年 - 年	
書面による調査及び目視による調査（事前調査）を行った者	氏名	大宮 秀介		
	資格名等	■ 一般 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 一戸建て等 <input type="checkbox"/> その他		
	講習実施機関の名称	一般社団法人 企業環境リスク解決機構		
分析による調査（分析調査）を行った者	氏名	結城 健一		
	講習実施機関の名称	公益社団法人 日本作業環境測定協会		
	所属する機関又は法人の名称	株式会社環境管理センター 技術センター		
分析による調査（分析調査）を行った箇所	試験結果報告書、採取図面 参照			
調査対象範囲	■ 全部屋	□ その他 ()		
調査結果概要 (石綿建材が確認された建築材料の種類、未調査箇所)	建築材料の種類	□ 吹付け材 <input type="checkbox"/> 保温材等 <input type="checkbox"/> 成形板等 <input type="checkbox"/> 仕上塗材		
	未調査箇所	■ 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		

◆表 1-2 アスベストの分析結果（2）

建築材料の種類 (作業対象の材料の種類)	事前調査の結果 (石綿使用の有無)				特定建築材料に該当しない (石綿使用なし) と判断した根拠				
	石綿有	みな し	石綿 無	不明	①目視	②設計図書等 (④を除く。)	③分析	④建築材料製造者による証明	⑤建築材料の製造年月日
吹付け材	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
保温材	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
煙突断熱材	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
屋根用折板断熱材	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
耐火被覆材 (吹付け材を除き、けい酸カルシウム板第2種を含む)	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
仕上塗材	■	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
スレート波板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
スレートボード	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
屋根用化粧スレート	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
けい酸カルシウム板第1種	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
押出成形セメント板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
パルプセメント板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
ビニル床タイル	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
窯業系サイディング	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
石膏ボード	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
ロックウール吸音天井板	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
その他の材料	■	■	■	□	① ■	② □	③ ■	④ □	⑤ □

■ : アスベスト含有建材を示す。

◆表 1-3 アスベストの分析結果（3）

調査報告詳細

目視調査の結果、アスベスト含有疑義建材48建材を抽出し、採取分析を行った。調査結果を表1、2に示す。また、現地で未調査となった箇所をアスベスト含有建材使用範囲図に示す。

なお、表3に示すたわみ継手、パッキン、ガスケットは、各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難なため、アスベスト含有みなし建材とした。

表1 (1) 調査結果（分析結果）

依頼No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			建材の種類※I
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率（%）	
338419	機械室1 柱・梁 吹付けロックウールA	無	—	—	—
338420	機械室3区画 柱・梁 吹付けロックウールB	無	—	—	—
338421	事務所区画 柱・梁 吹付けロックウールC	無	—	—	—
338422	1階 前室3 柱 けい酸カルシウム板第2種A	無	—	—	—
338423	4階 点検歩廊 柱・梁 けい酸カルシウム板第2種B	無	—	—	—
338424	事務所区画 柱・梁 けい酸カルシウム板第2種C	無	—	—	—
338425	2階 受入れコンペアステージ 壁 けい酸カルシウム板第2種 (コンペア取付部)	無	—	—	—
338426	ケーブル貫通部 けい酸カルシウム板第2種 (厚)	無	—	—	—
338427	ケーブル貫通部 けい酸カルシウム板第2種 (薄)	無	—	—	—
338428	2階 防臭室 壁・天井 折板断熱材	無	—	—	—
338429	屋根 屋根用折板断熱材	無	—	—	—
338430	2階 受入れコンペアステージ 巾木 仕上材（白）	無	—	—	—
338431	機械室2 設備基礎 仕上材（オブホワイト）	無	—	—	—
338432	機械室2 設備基礎 仕上材（薄灰）A	無	—	—	—
338433	1階 プラットホーム 壁 仕上材（薄灰）B	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※II
338434	工場棟 腰壁 仕上材（灰）	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※II
338435	1階 電気室 壁 仕上材（アイボリー）	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※II
338436	1階 積出室 壁 仕上材（薄灰）（ALC下地）	無	—	—	—
338437	外腰壁 塗装材（灰） (東面)	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※II
338438	外腰壁 塗装材（灰） (西面)	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※II
338439	外腰壁 塗装材（灰） (南面)	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※II

□ : アスベスト含有建材を示す。

◆表 1-4 アスペストの分析結果（4）

表1 (2) 調査結果（分析結果）

No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			建材の種類※1
		アスペストの有無	アスペストの種類	推定アスペスト質量分率（%）	
338440	外腰壁 塗装材（灰）（北面）	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※II
338441	外壁 塗装材（白）（ALC下地）（東面）	無	—	—	—
338442	外壁 塗装材（白）（ALC下地）（西面）	無	—	—	—
338443	外壁 塗装材（白）（ALC下地）（南面）	無	—	—	—
338444	外壁 塗装材（白）（ALC下地）（北面）	無	—	—	—
338445	2階 男子便所 壁 けい酸カルシウム板第1種 (クロス仕上) +下地せっこうボード	無	—	—	—
338446	機械室1 壁 けい酸カルシウム板第1種A	無	—	—	—
338447	4階 点検歩廊 天井 けい酸カルシウム板第1種B	無	—	—	—
338448	庇裏 けい酸カルシウム板第1種C	無	—	—	—
338449	1階 エントランスホール 床 下地材（タイル下地）	無	—	—	—
338450	2階 廊下 床 ビニール床シート（薄灰）	有	クリソタイル	0.1-5	成形板等
338451	2階 男子便所 床 ビニール床シート（灰）	無	—	—	—
338452	3階 中央制御室 床 フリーアクセスフロア (セメント質) +接着剤	無	—	—	—
338453	2階 非常用発電機室 床 塗床（薄灰）	有	クリソタイル	0.1-5	成形板等
338454	床 塗床（灰）	無	—	—	—
338455	床 塗床（緑）	無	—	—	—
338456	床 塗床（茶）	無	—	—	—
338457	2階 廊下 巾木 ソフト巾木（濃茶）	無	—	—	—
338458	3階 屋上室外機置場 立上り 露出アスファルト防水	有	トレモライト/アチノライト	0.1-5	成形板等
338459	2階 湯沸室 壁 下地材（磁器タイル下地）	無	—	—	—
338460	2階 廊下 壁 せっこうボード (クロス仕上)（白・格子）	無	—	—	—

□ : アスペスト含有建材を示す。

◆表1-5 アスベストの分析結果（5）

表1 (3) 調査結果（分析結果）

No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			建材の種類※1
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率（%）	
338461	2階 受入れコンペアステージ 壁 せっこうボード (塗装仕上) (コンペア取付部)	無	—	—	—
338462	3階 廊下2 吹抜け壁 せっこうボード（塗装仕上） (白)	無	—	—	—
338463	外壁 シーリング材	無	—	—	—
338464	3階 廊下2 天井 せっこうボード（化粧）	無	—	—	—
338465	2階 廊下 天井 ロックウール吸音天井板 +下地せっこうボード	無	—	—	—
338466	ケーブル貫通部 耐火パテ	無	—	—	—

表2 調査結果（アスベスト含有建材）

建材の種類※1	部位	建材名称	判断根拠	No.	主な使用箇所	備考
石綿含有吹付け材	—	—	—	—	—	—
石綿含有保温材等	—	—	—	—	—	—
石綿含有成形板等	床	ビニル床シート (薄灰)	分析	338450	2階 廊下 等	ビニル床シート層： 不検出 接着剤層：検出
	床	塗床（薄灰）	分析	338453	1階 EPS、 2階 非常用発電機室 等	—
	立上り	露出アスファルト 防水	分析	338458	3階 屋上室外機置場	—
石綿含有仕上塗材	壁	仕上材（薄灰）B	分析	338433	1階 プラットホーム	全2層 表層より 1層目 薄灰色層： 不検出 2層目 薄灰色層：検出
	腰壁	仕上材（灰）	分析	338434	工場棟	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	壁	仕上材 (アイボリー)	分析	338435	1階 電気室	全2層 表層より 1層目 エポキシ層： 不検出 2層目 灰色層：検出
	外腰壁	塗装材（灰） (東面)	分析	338437	外部	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	外腰壁	塗装材（灰） (西面)	分析	338438	外部	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	外腰壁	塗装材（灰） (南面)	分析	338439	外部	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	外腰壁	塗装材（灰） (北面)	分析	338440	外部	全3層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 灰色層：検出 3層目 薄灰色層：検出

◆表 1-6 アスベストの分析結果（6）

表3 アスベスト含有みなし建材

建材の種類※1	建材名称	部位	主な使用箇所	根拠など
石綿含有吹付け材	-	-	-	-
石綿含有保温材等	-	-	-	-
石綿含有成形板等	たわみ継手	ダクト	機械室2、3 等	各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難
	パッキン	ダクト	機械室2、3 等	各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難
	ガスケット	配管	機械室2	各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難
石綿含有仕上塗材	-	-	-	-

※ I : 建材の種類

「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(環境省・厚生労働省)」に示された石綿含有建材の種類ごとに応じた分類。

除去等の作業を行う際は、建材の種類や作業内容に応じて、飛散防止対策を取る必要がある。

石綿含有吹付け材 (発じん性が著しく高い建材)

石綿含有保温材等 (発じん性が高い建材)

石綿含有成形板等 (発じん性が比較的低い建材)

石綿含有仕上塗材 (発じん性が比較的低い塗材)

《建材の種類に対する一般的な作業手順》

【「(発じん性が著しく高い建材)及び(発じん性が高い建材)」について】

「吹き付けられた石綿等の除去等」及び「保温材等を切断等により除去」を行う場合の作業においては、他の作業場所からの隔離、集じん・排気装置の設置、前室及び設備の設置、隔離空間への入退室時の必要な措置、湿潤化等の措置を講じる必要がある。

「保温材等を焼き落とし、切断又は破碎を行わずに、除去等を行う場合」は、床面等必要な部分への隔離養生(負圧不要)、除去する保温材等を薬液等により温潤化等の措置を講じる必要がある。

【「(発じん性が比較的低い建材)」について】

「石綿含有成形板を除去する作業」においては、切断等により除去する場合は、除去部分を常時温潤する必要がある。

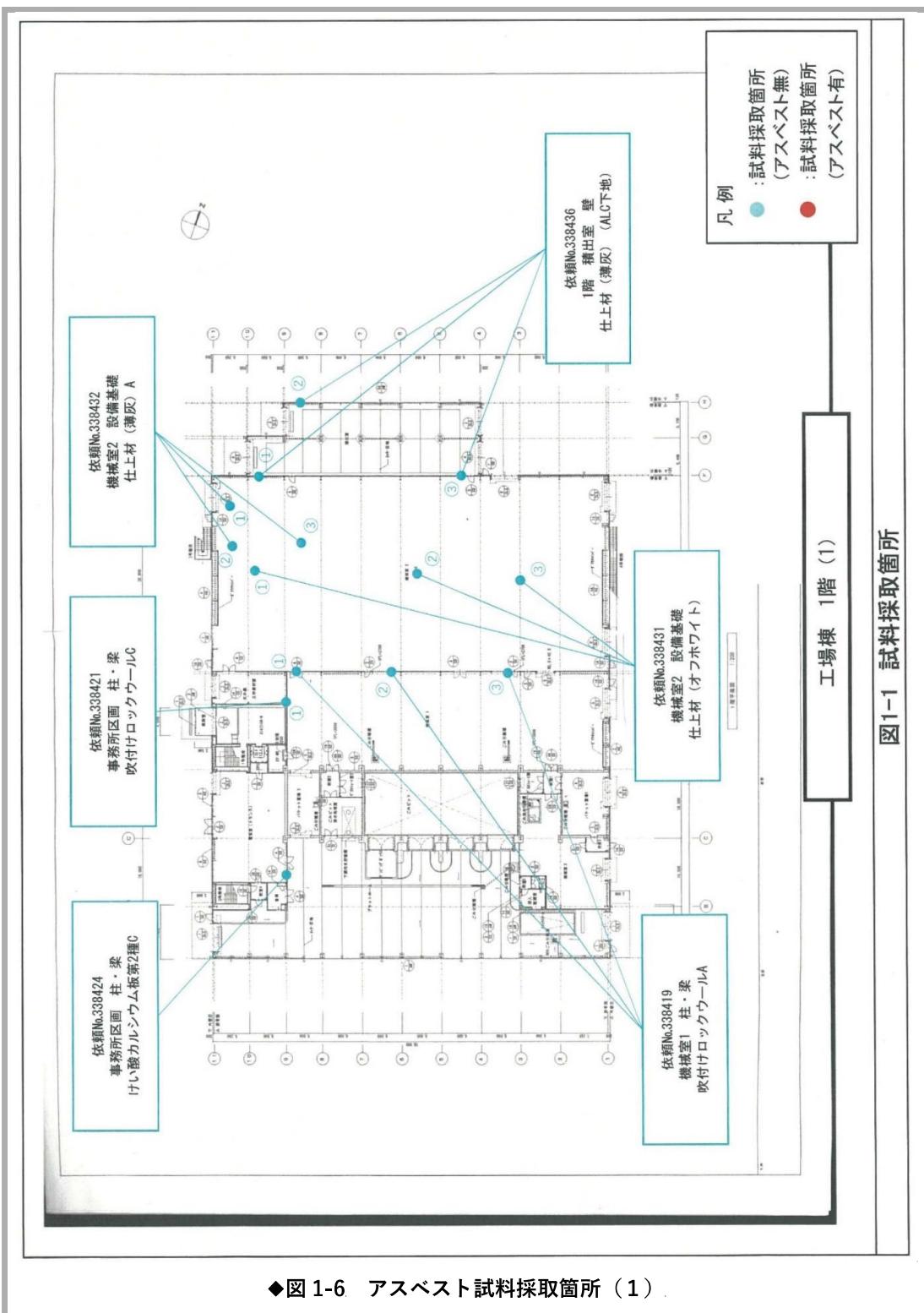
切断等により除去する場合は、除去部分の常時温潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行う。

※ II : 仕上塗材下地調整塗材に係る作業をする場合には、塗材のどの層に石綿があるのかを明らかにして、工法・作業を選択する必要がある。

仕上塗材を除去する場合は、常時温潤な状態とした上で除去する必要がある。

また、電動工具(ディスクグラインダー等)を使用して除去する場合は、作業場所の隔離(負圧不要)を行い、除去部分の常時温潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行う。

石綿を含有する建築用下地調整塗材は、法令上は石綿含有成形板等の作業基準が適用されるが、除去に当たっては、温潤化等の措置を実施する必要がある。



◆図1-6 アスベスト試料採取箇所（1）

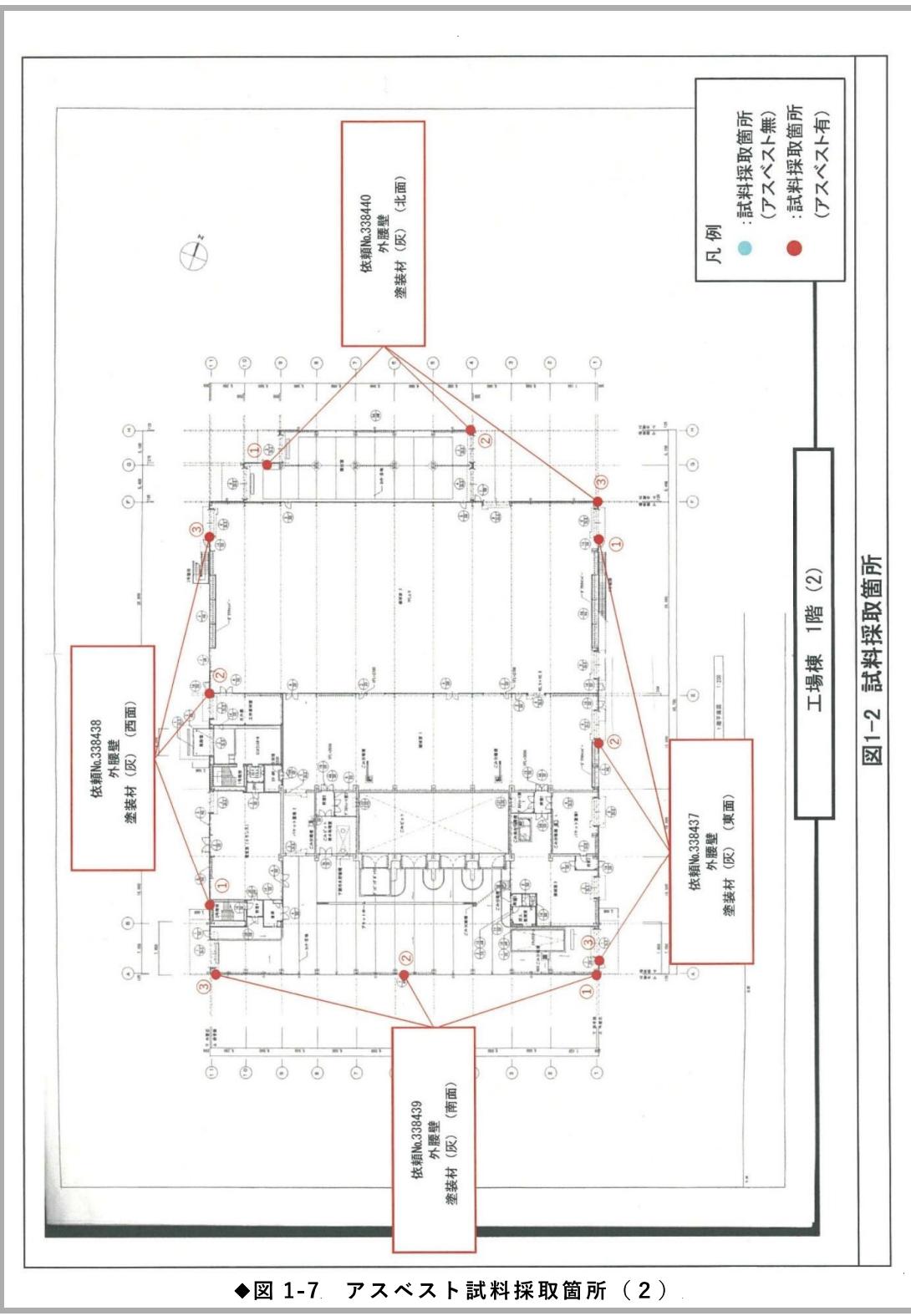


図 1-2 試料採取箇所

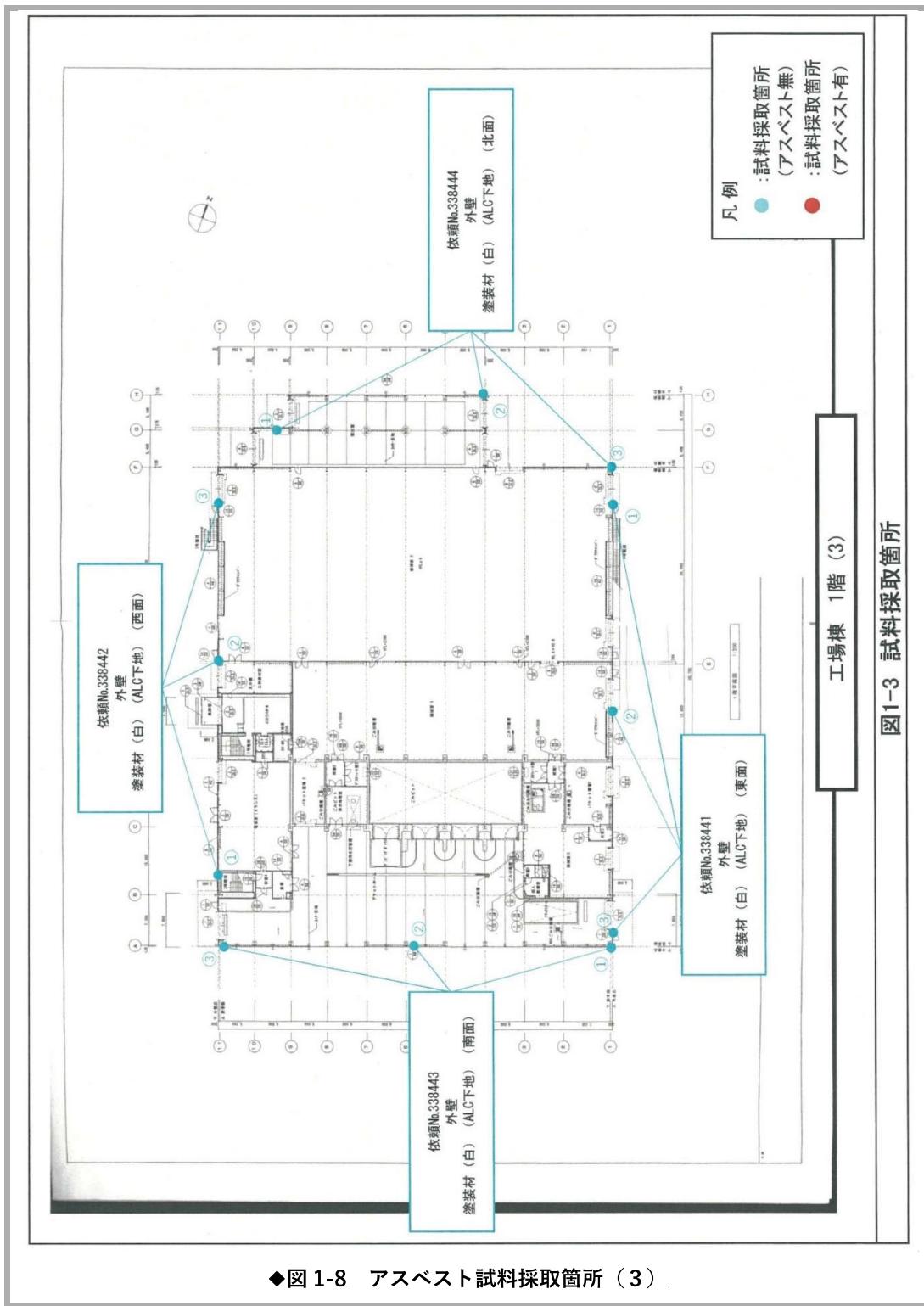
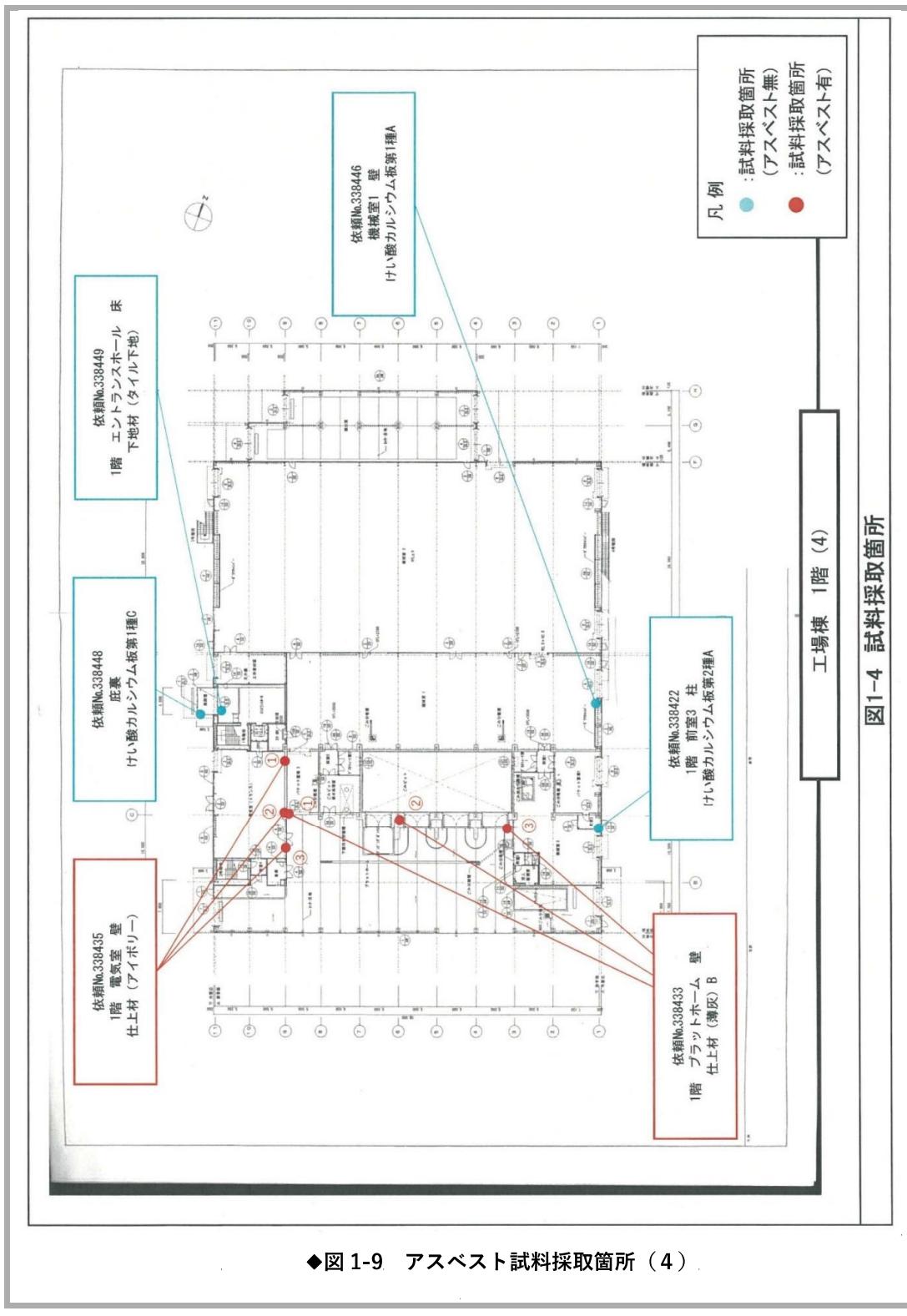


図1-3 試料採取箇所



◆図1-9 アスベスト試料採取箇所 (4)

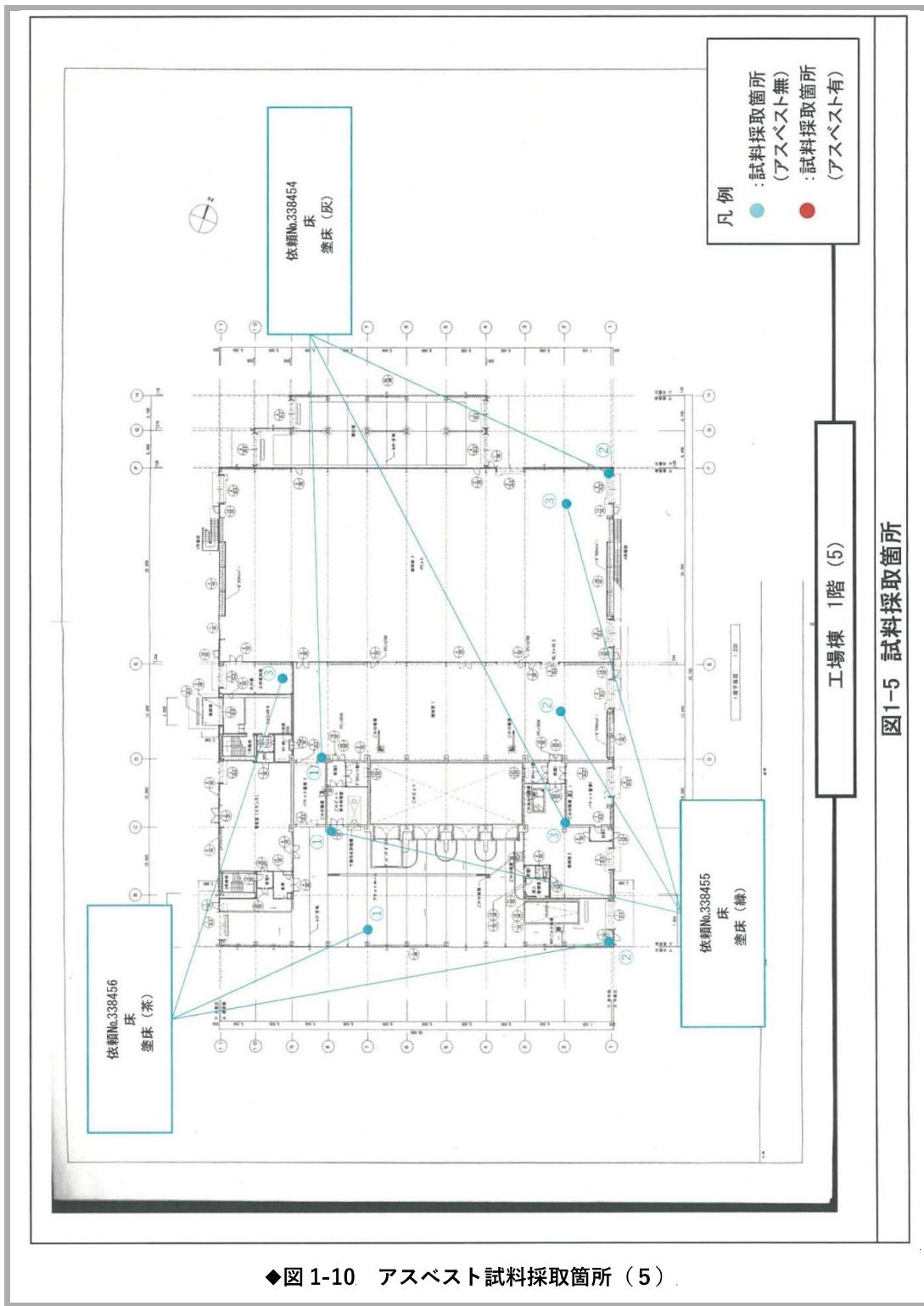


図 1-5 試料採取箇所

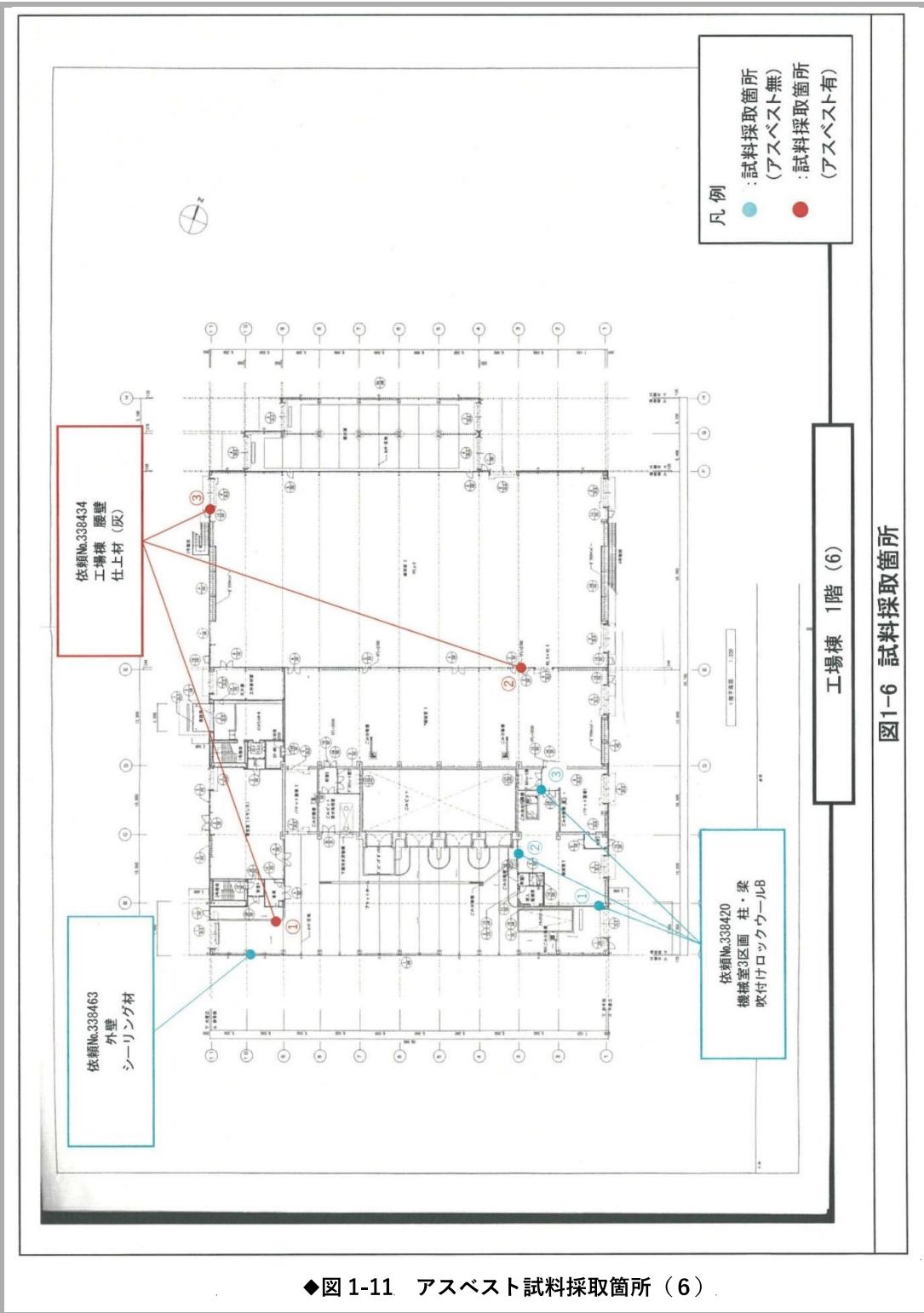


図 1-6 試料採取箇所

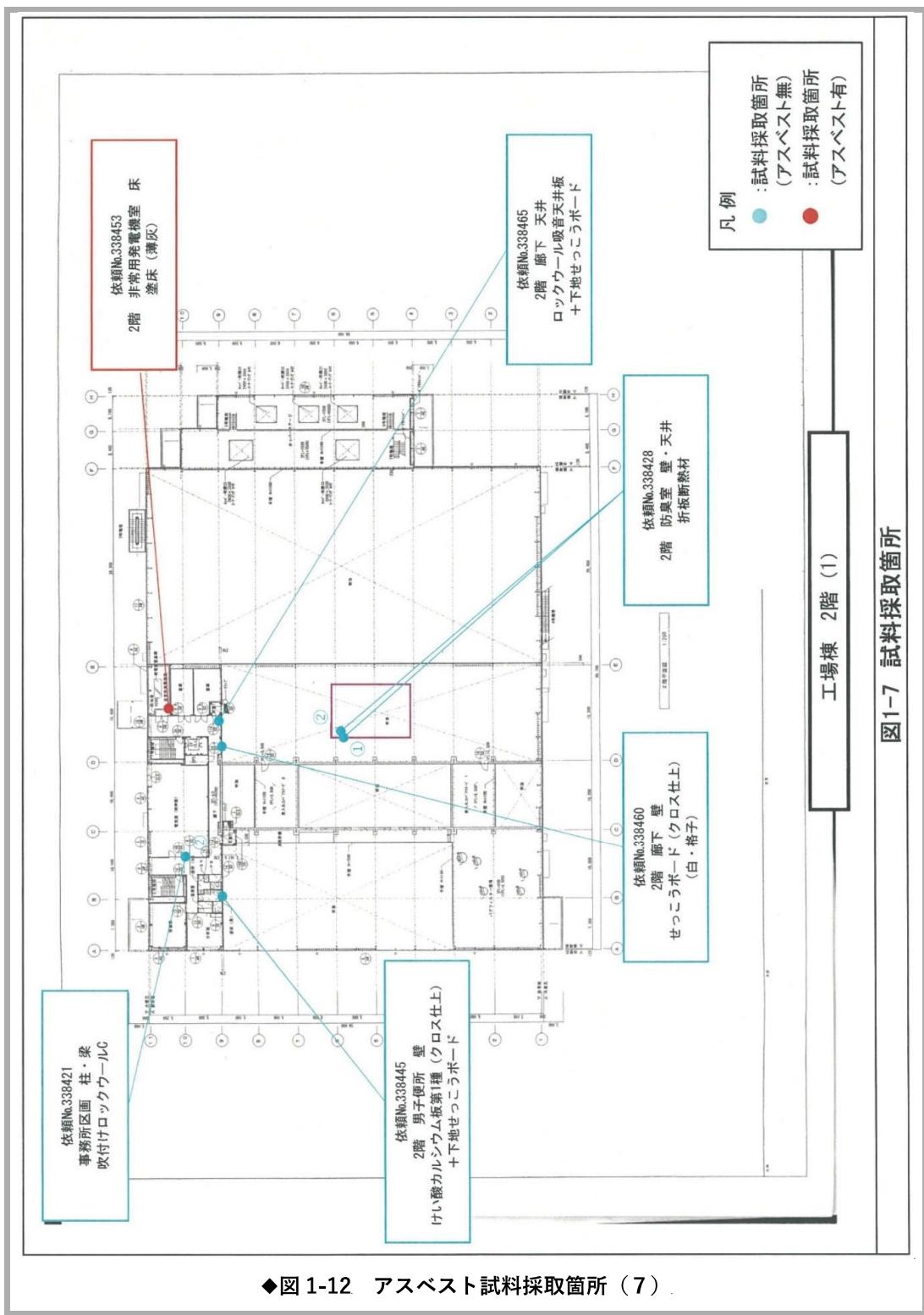
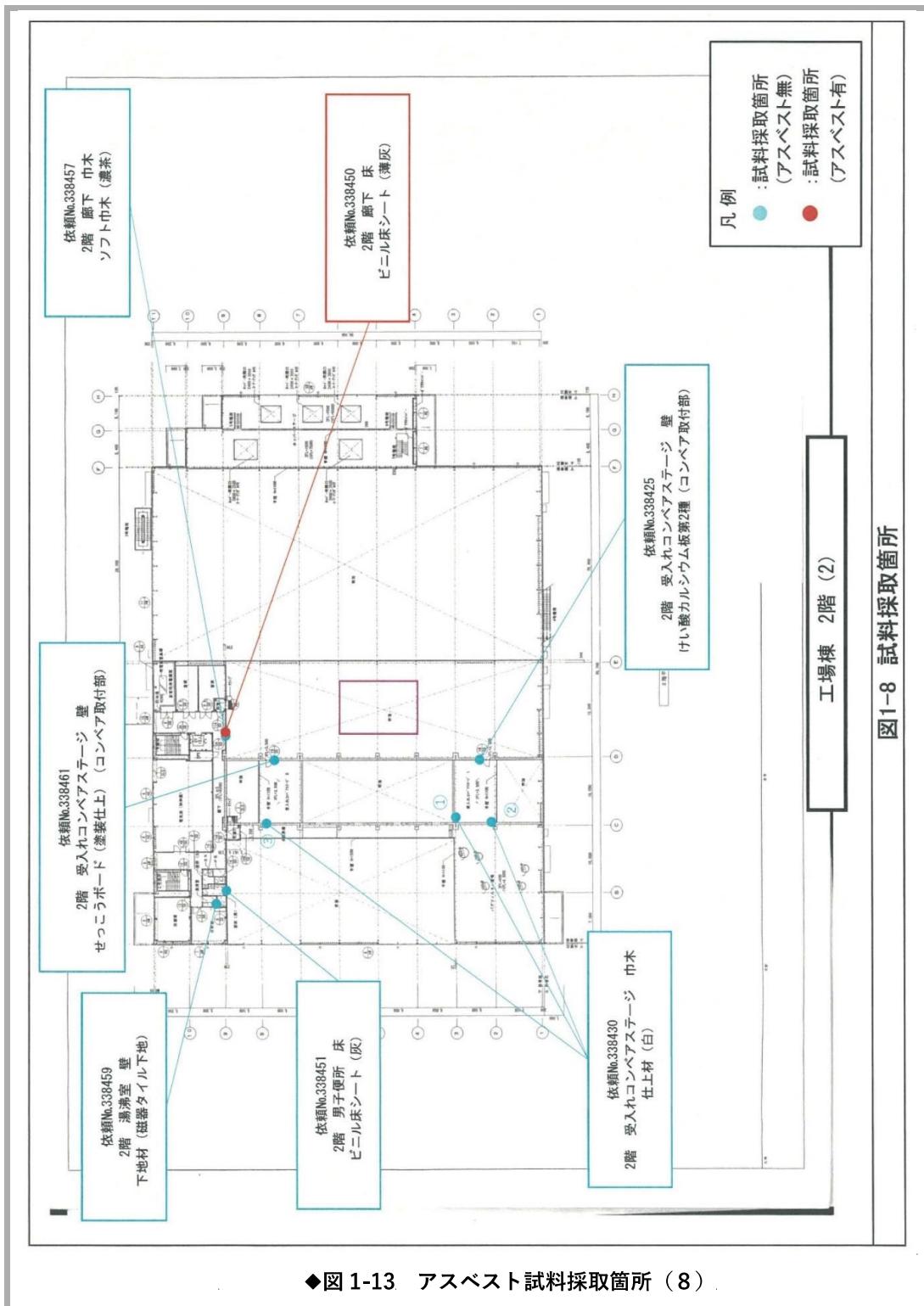
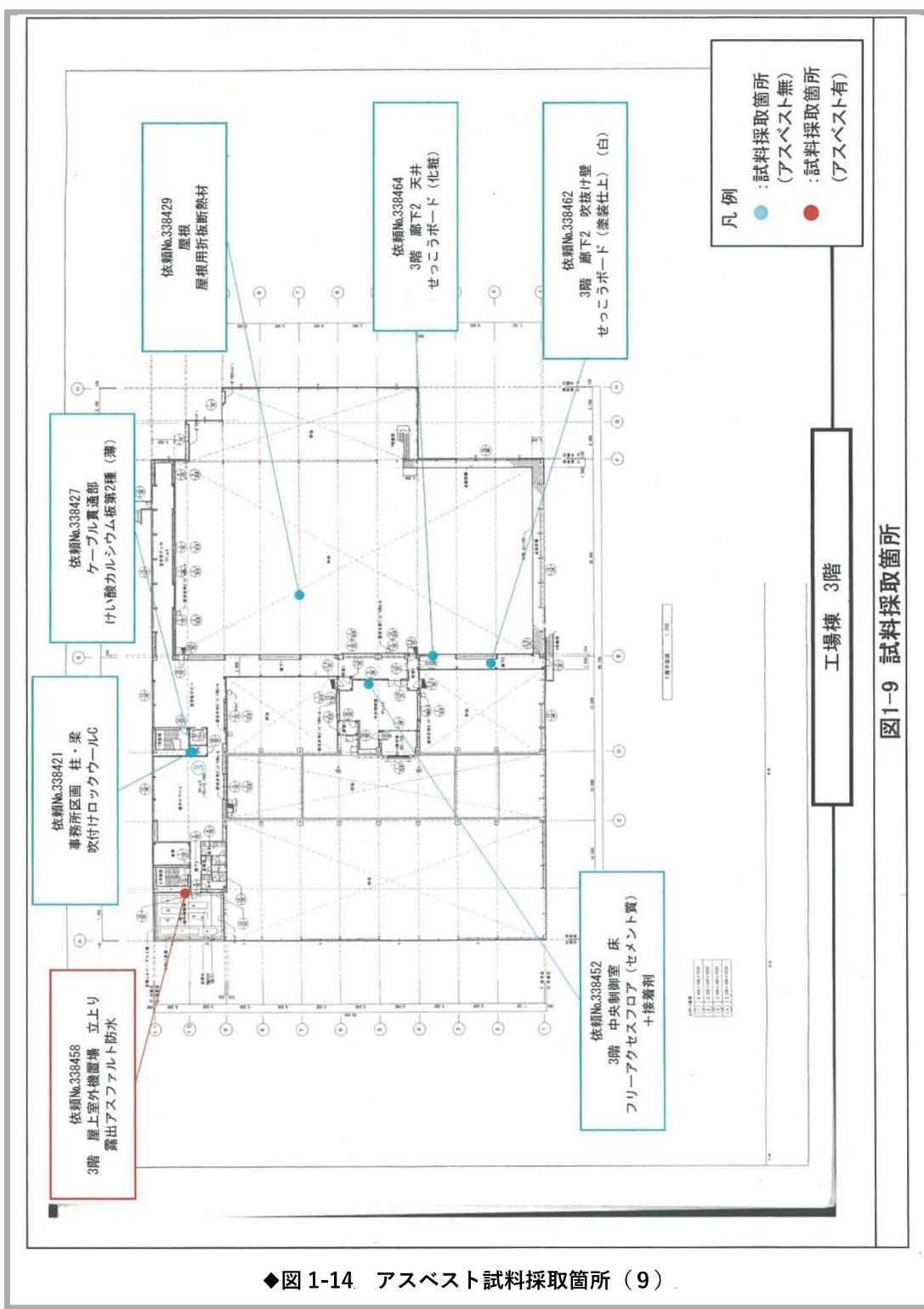
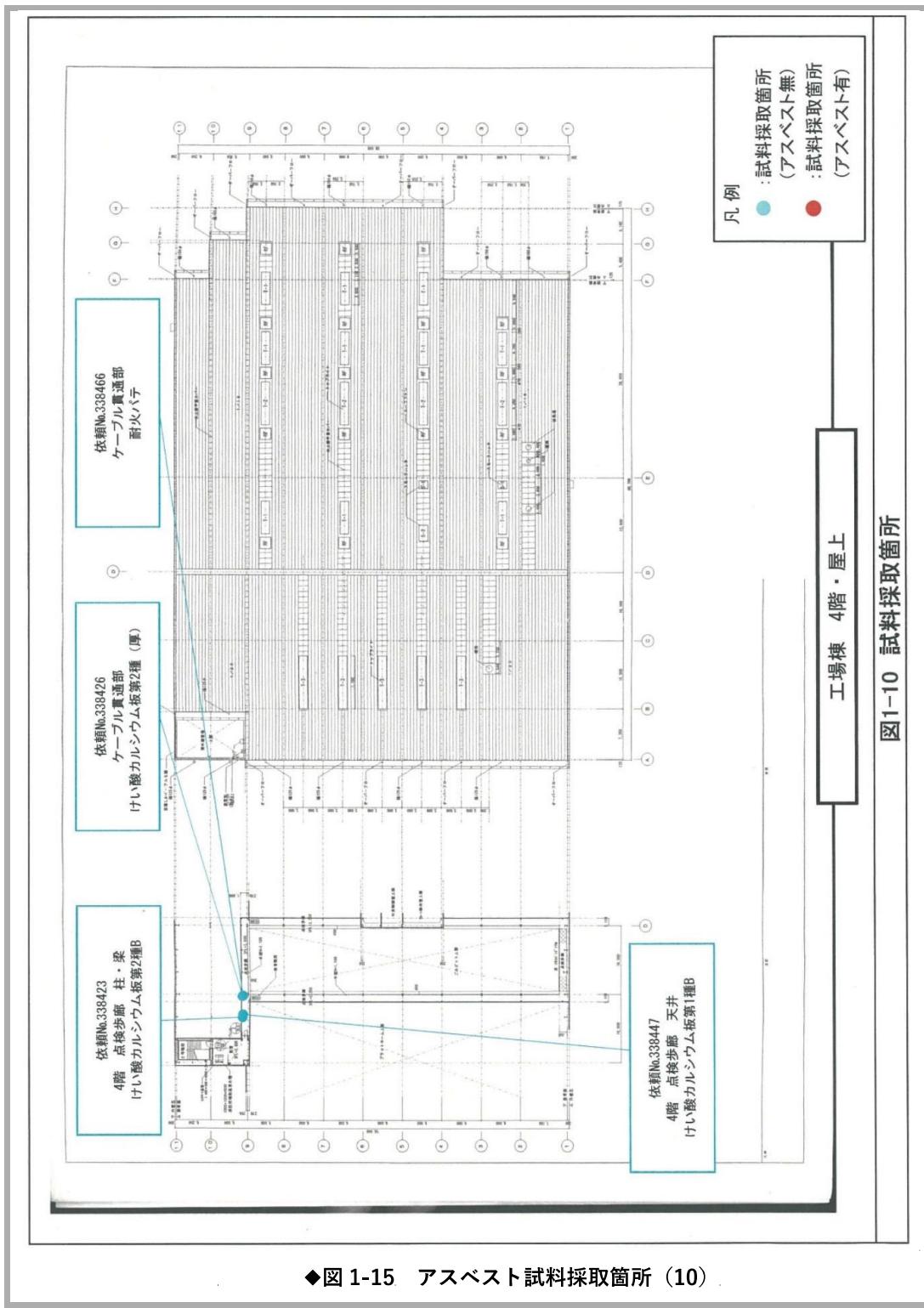


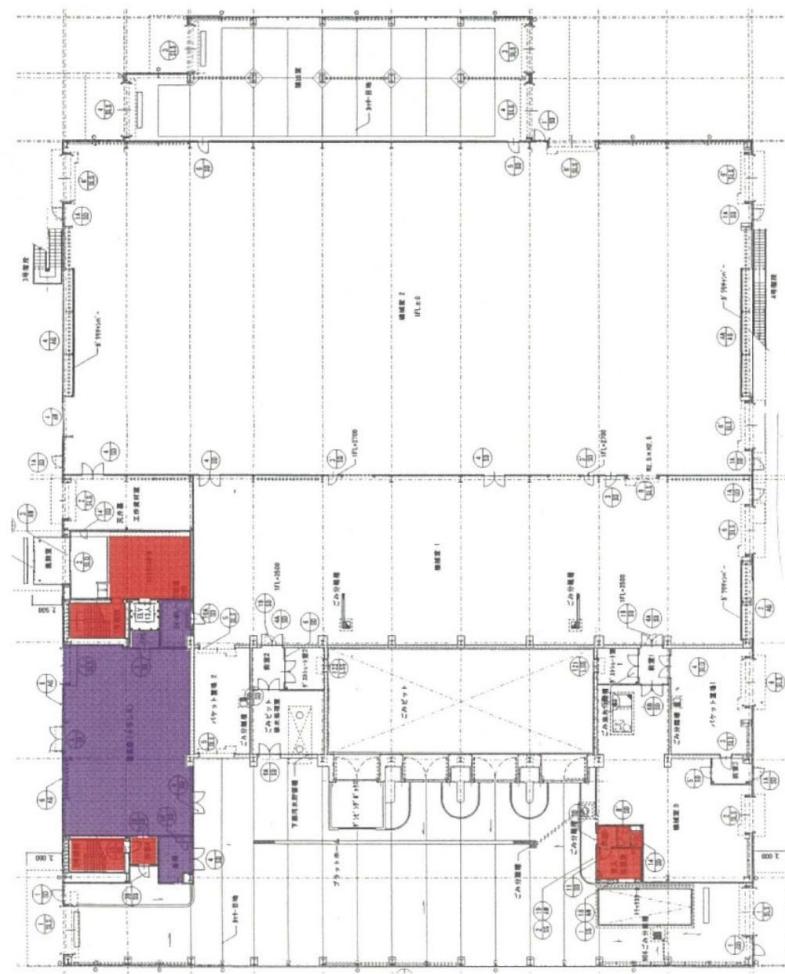
図 1-7 試料採取箇所

◆図 1-12 アスベスト試料採取箇所 (7)







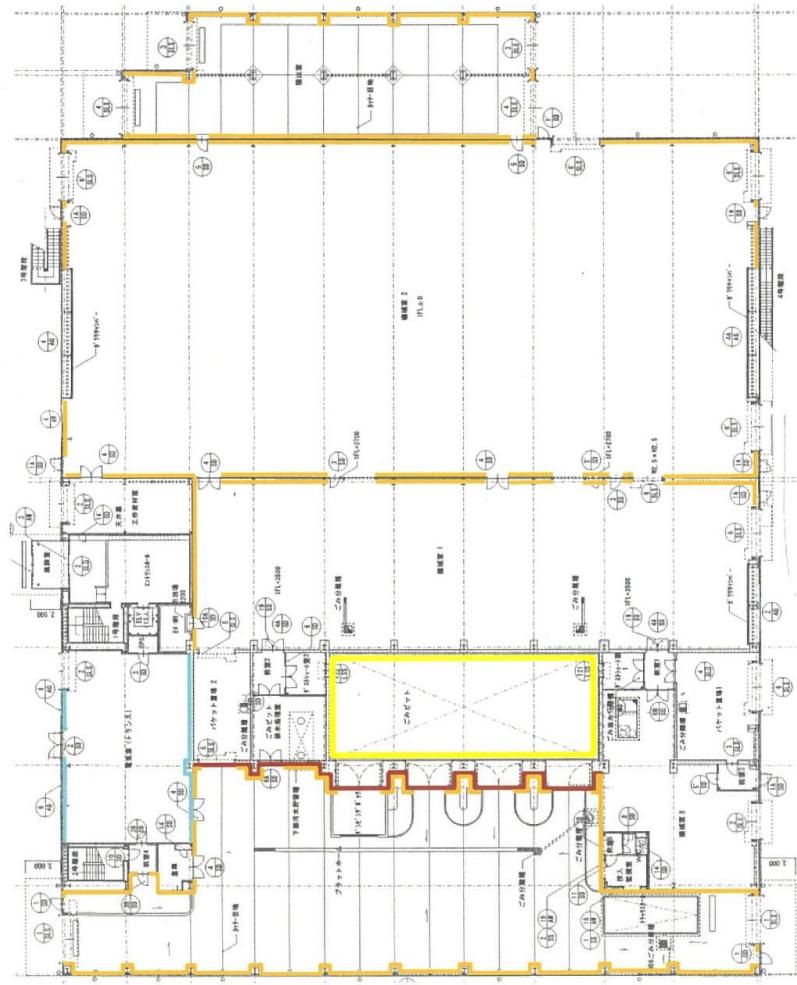


◆図 1-16 アスベスト含有建材使用範囲（1）

凡例
■:床 ビニル床シート(薄灰) (成形板等) 依頼No.338450
■:床 塗床(薄灰) (成形板等) 依頼No.338453

工場棟 1階(1)

図2-1 アスベスト含有建材使用範囲図(床)



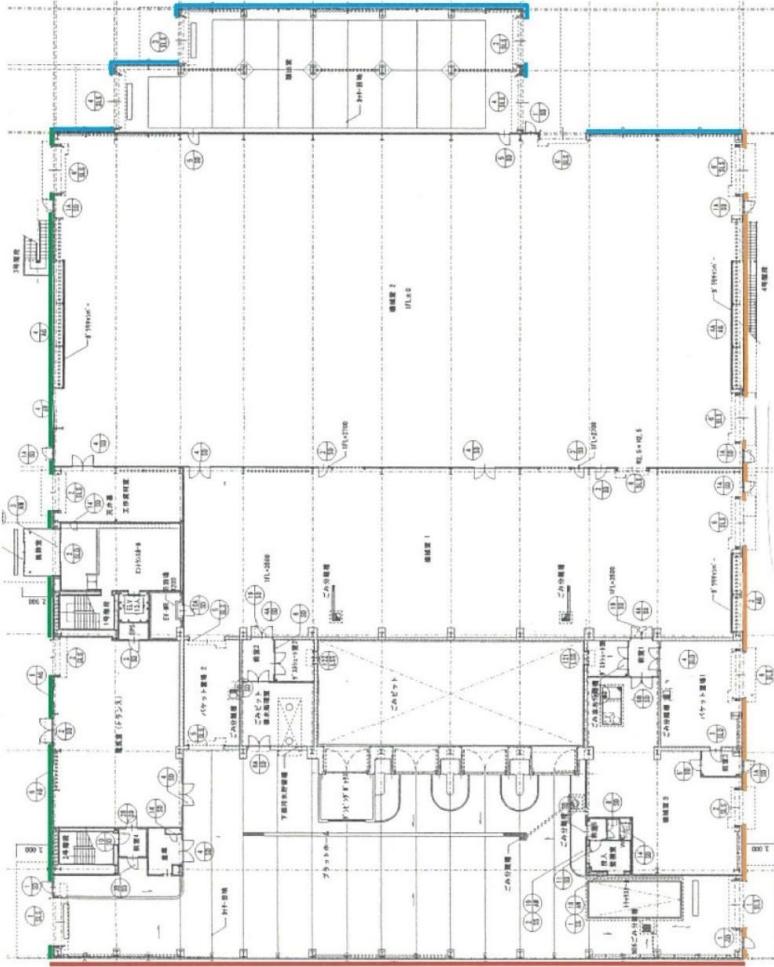
凡例

- 壁 仕上材(薄灰)B (仕上塗材) 依頼No.338433
- 腰壁 仕上材(灰) (仕上塗材) 依頼No.338434
- 壁 仕上材(アイボリー) (仕上塗材) 依頼No.338435
- 未調査箇所

図2-2 アスベスト含有建材使用範囲図(壁)

工場棟 1階(2)

◆図 1-17 アスベスト含有建材使用範囲（2）



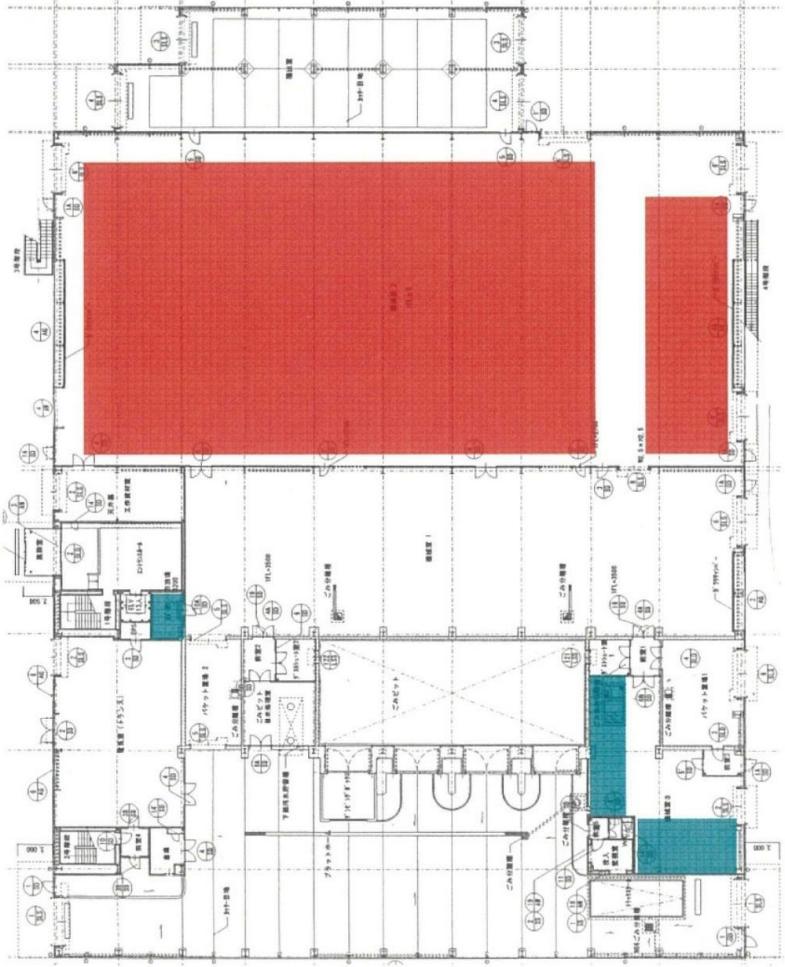
凡例

- 外腰壁 塗装材(灰)(裏面) (仕上塗材) 依頼No.338437
- 外腰壁 塗装材(灰)(西面) (仕上塗材) 依頼No.338438
- 外腰壁 塗装材(灰)(南面) (仕上塗材) 依頼No.338439
- 外腰壁 塗装材(灰)(北面) (仕上塗材) 依頼No.338440

図2-3 アスベスト含有建材使用範囲図(外腰壁)

工場棟 1階 (3)

◆図 1-18 アスベスト含有建材使用範囲 (3)

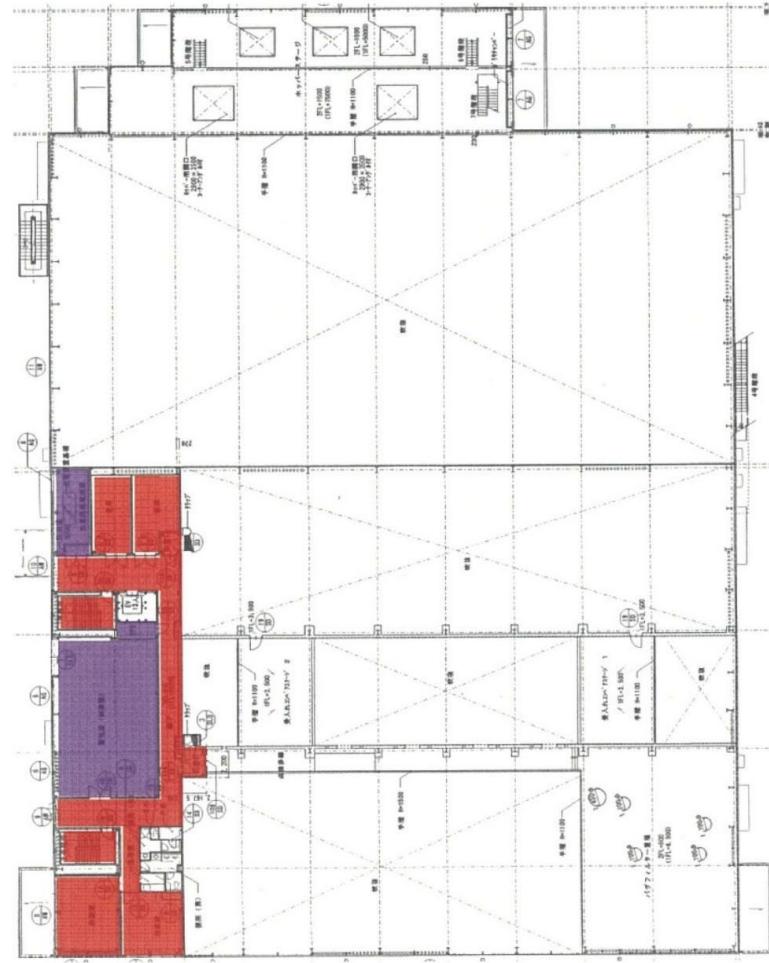


凡例

- : 設備 たわみ継手、パッキン、ガスケット(成形板等) みなし建材
- : 設備 たわみ継手、パッキン(成形板等) みなし建材

図2-4 アスベスト含有建材使用範囲図(設備)
工場棟 1階 (4)

◆図 1-19 アスベスト含有建材使用範囲 (4)



◆図 1-20 アスベスト含有建材使用範囲（5）

凡例
■:床 ビニル床シート(薄灰) (成形板等) 依頼No.338450
■:床 塗床(薄灰) (成形板等) 依頼No.338453

工場棟 2階(1)

図2-5 アスベスト含有建材使用範囲図(床)

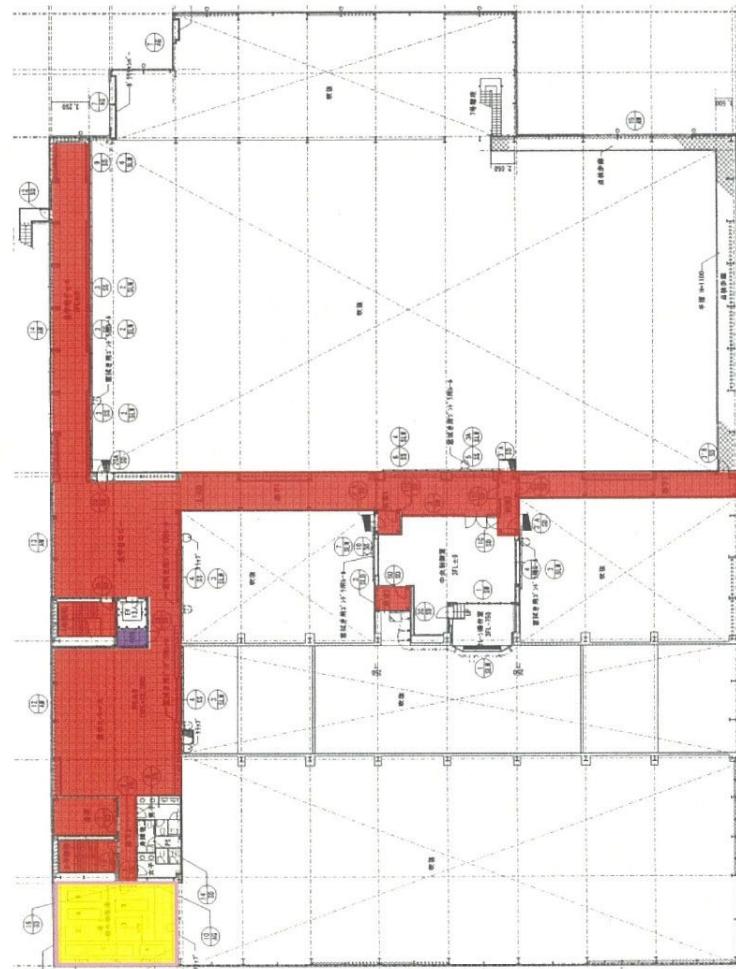


凡例

- 設備 たわみ継手、パッキン、ガスケット(成形板等) みなし建材
- 設備 たわみ継手、パッキン(成形板等) みなし建材

図2-6 アスペスト含有建材使用範囲図(設備)
工場棟 2階(2)

◆図 1-21 アスペスト含有建材使用範囲（6）

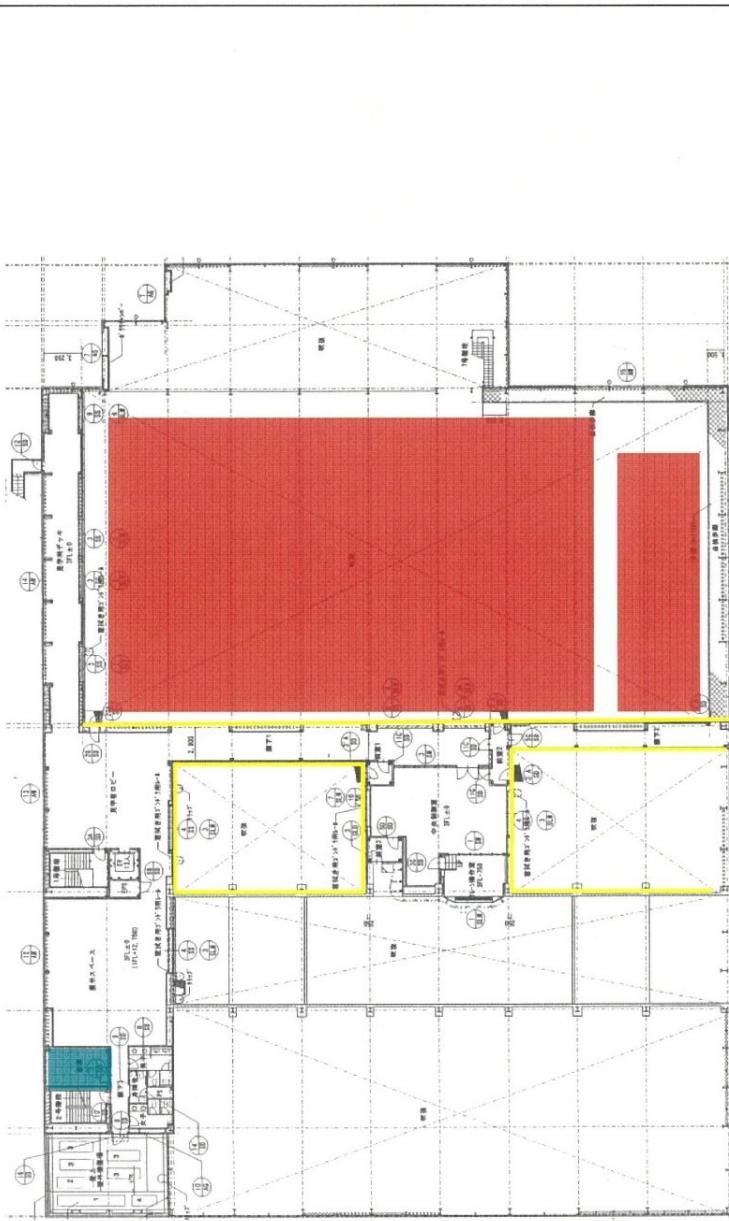


凡例

- 床 ヒニル床シート(薄灰) (成形板等) 依頼No.338450
- 床 塗床(薄灰) (成形板等) 依頼No.338453
- 立上り 露出アスファルト防水 (成形板等) 依頼No.338458
- 未調査箇所

図2-7 アスベスト含有建材使用範囲図(床、立上り)
工場棟 3階(1)

◆図 1-22 アスベスト含有建材使用範囲図 (7)

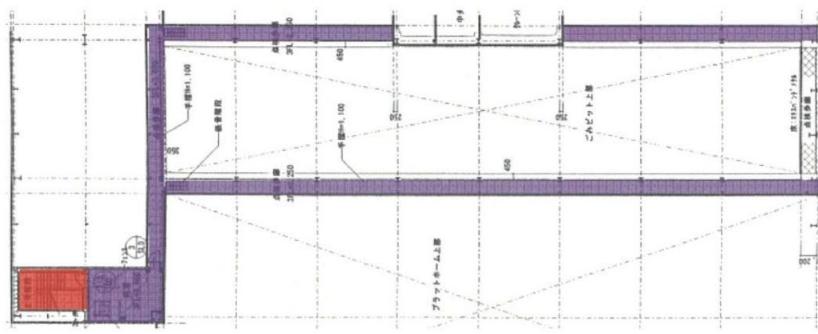


◆図 1-23 アスベスト含有建材使用範囲（8）

凡例
 ■ : 設備 たわみ継手、パッキン、ガスケット(成形板等) みんなし建材
 ■ : 設備 たわみ継手、パッキン(成形板等) みんなし建材
 ■ : 未調査箇所

図2-8 アスベスト含有建材使用範囲図(設備)

工場棟 3階(2)



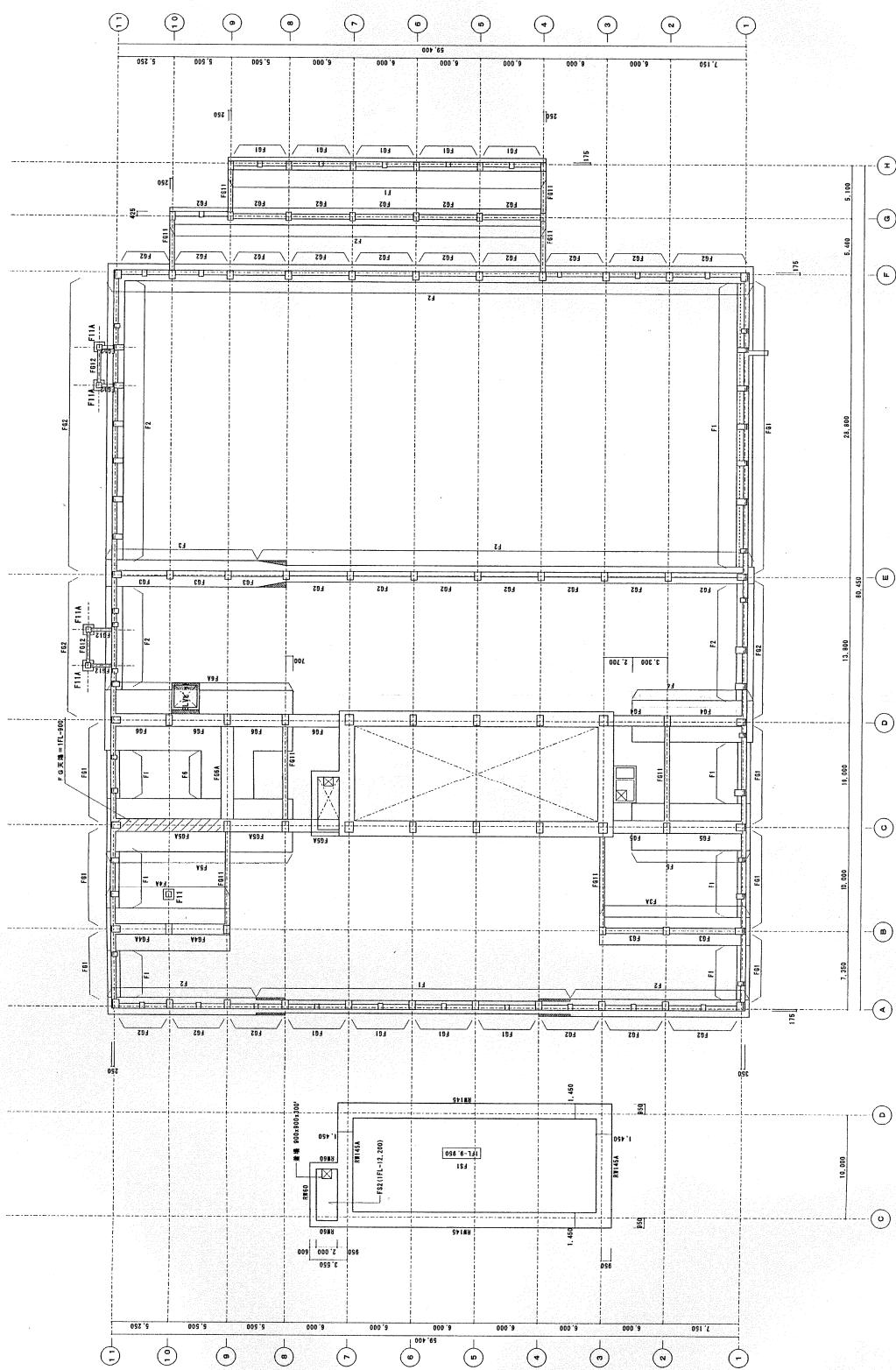
凡例
■: 床 ビニル床シート(薄灰) (成形板等) 依頼No.338450
■: 床 塗床(薄灰) (成形板等) 依頼No.338453

◆図 1-24 アスベスト含有建材使用範囲図（9）

工場棟 4階

図2-9 アスベスト含有建材使用範囲図(床)

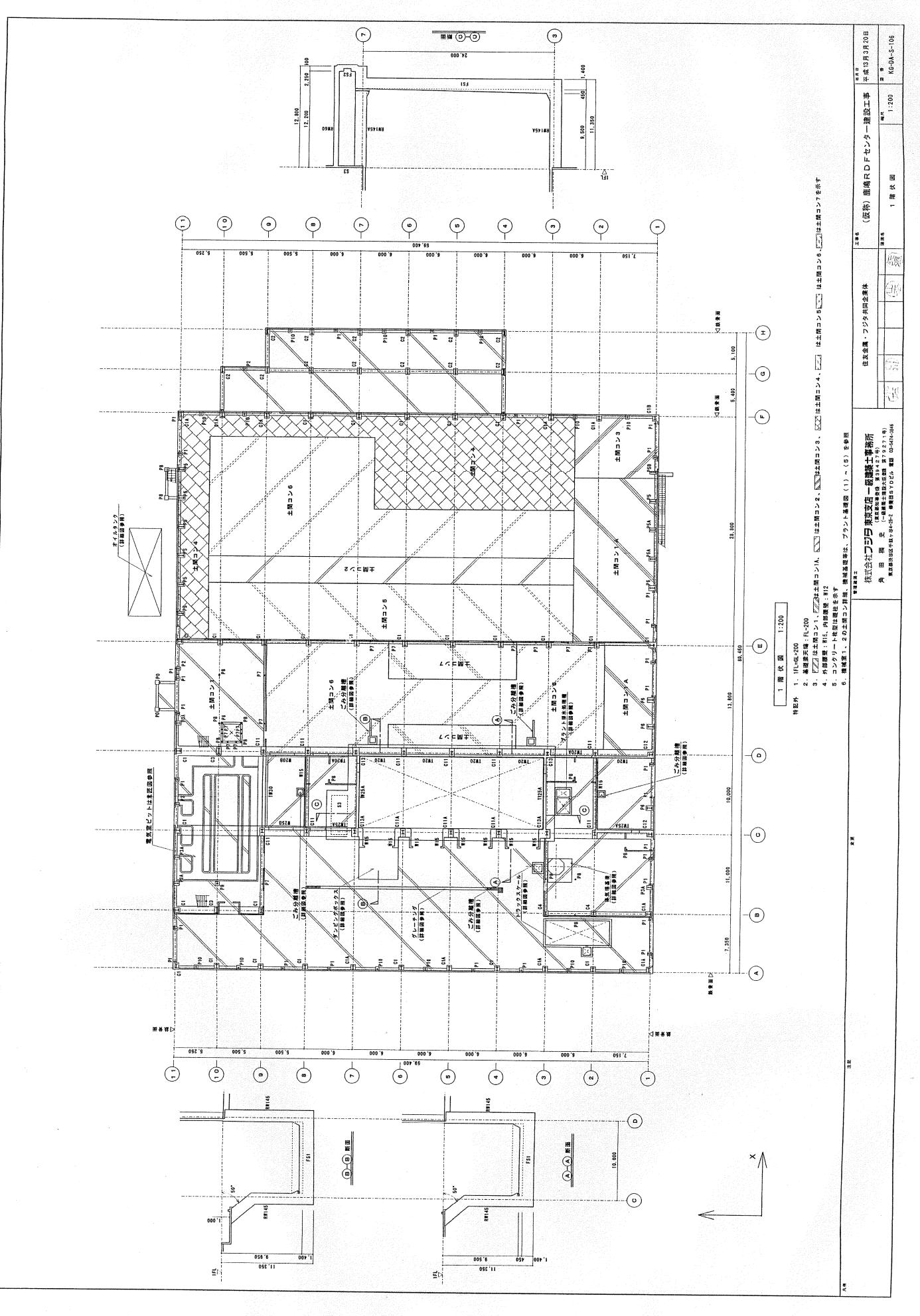
広域鹿嶋 RDF センター解体撤去工事
構造図・仕上表

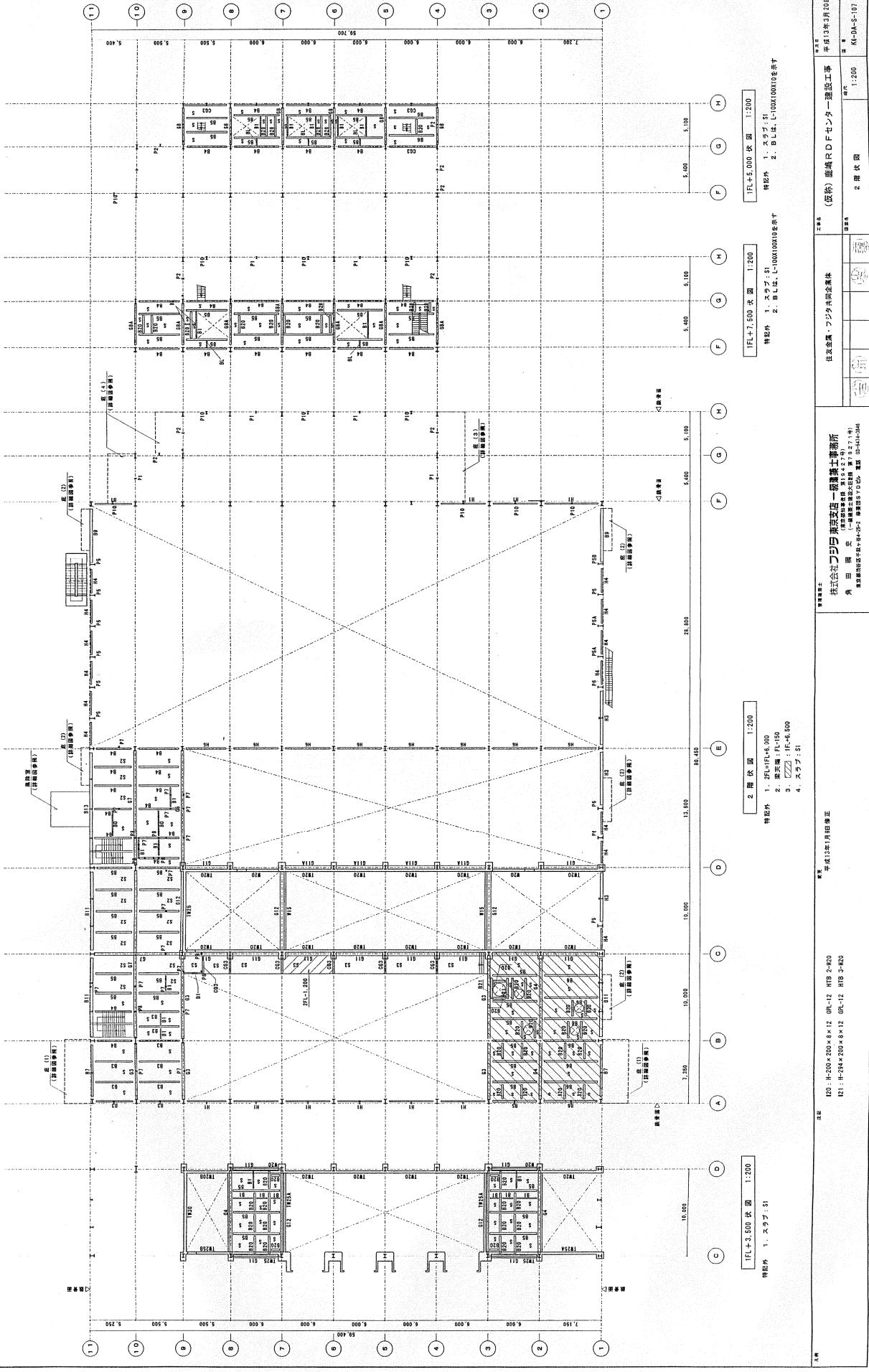


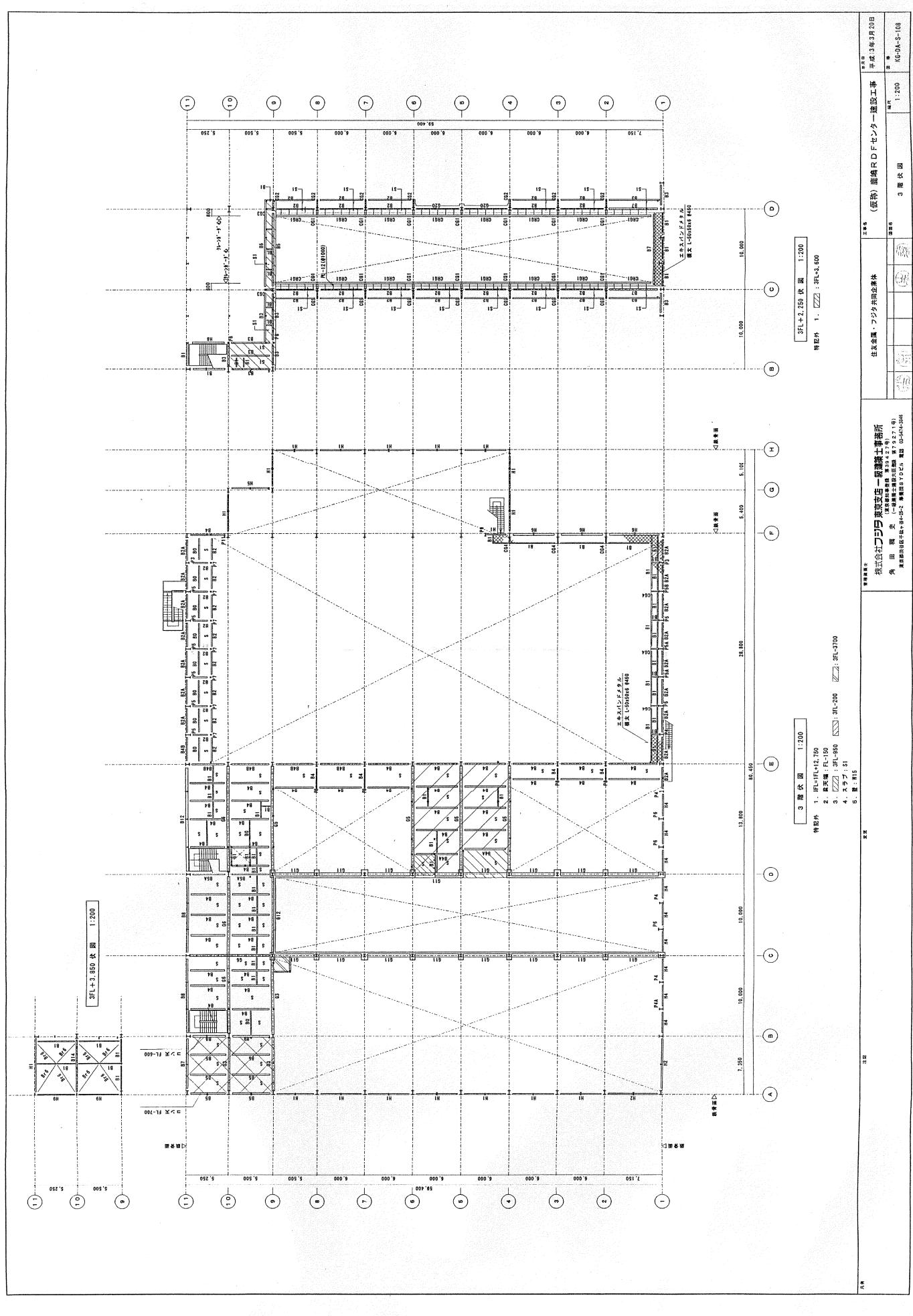
基礎伏図 1:200

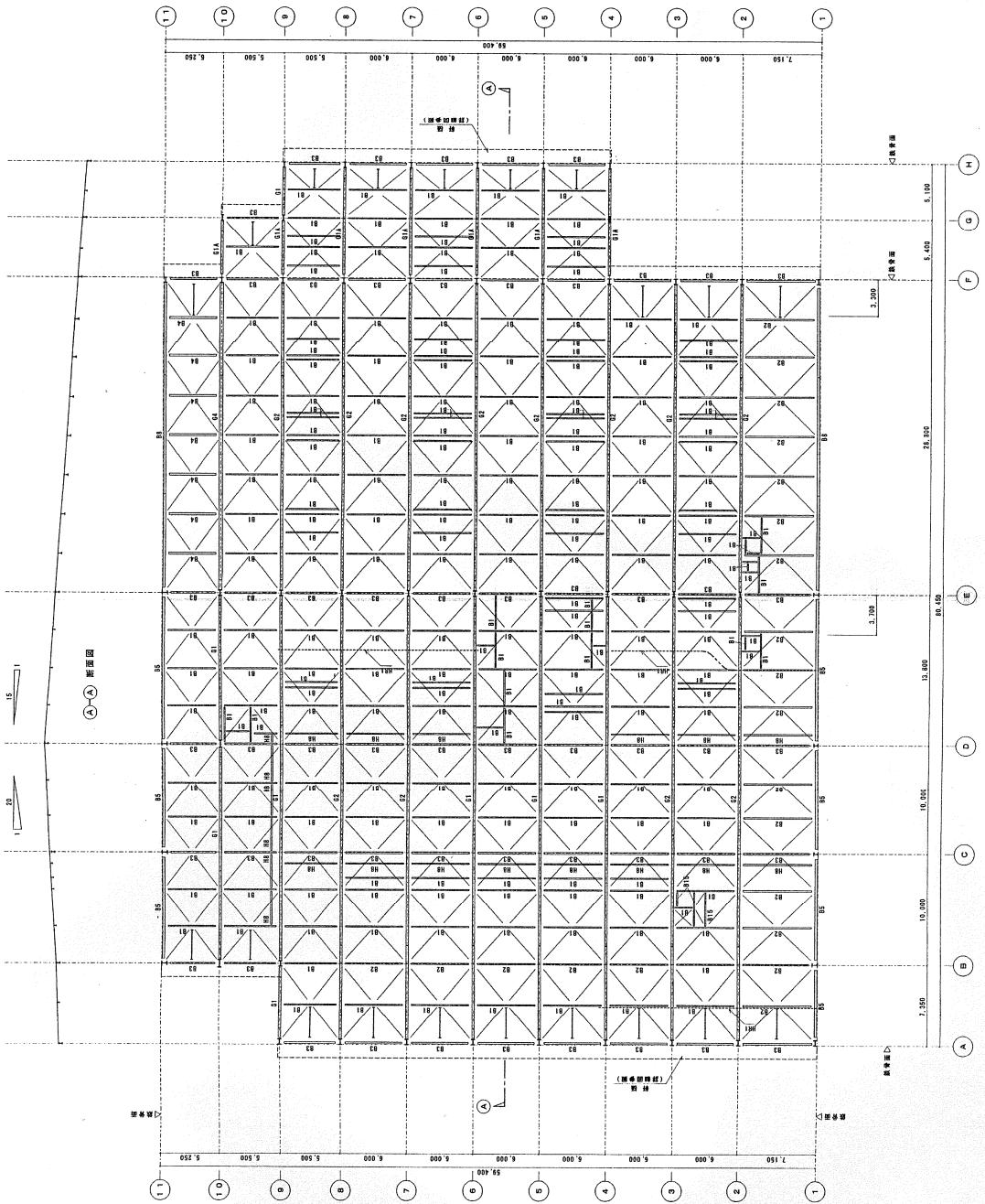
記外 1. 増コンを示す

ビット部 伏 図 1:200





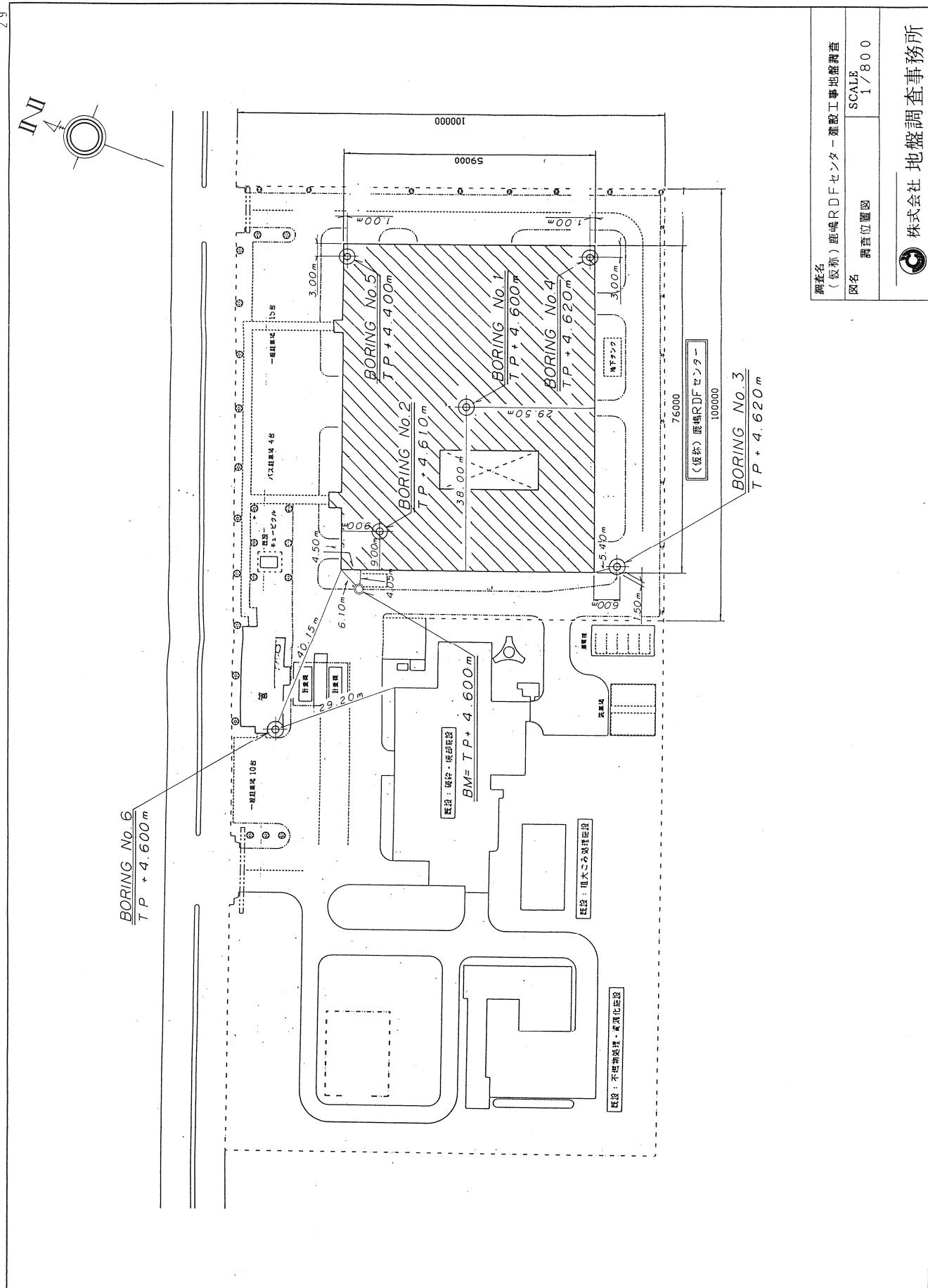




株式会社 角田 錠 東京都渋谷区代々木2-1-52		〒151-0022 東京都渋谷区代々木2-1-52		03-3486-3466	
代表者名 角田 錠 （一級建築士）		生友金属・フジタ共栄会社 （仮称）廻輪Rドセント一建設工事		平成13年3月20日	
地図	現地	現地	現地	現地	現地
北					

外 壁 上 表																
工事種別																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																
工事区分																

**広域鹿嶋 RDF センター解体撤去工事
ボーリング調査結果**



§-4. 調査および試験の結果

4-1. ボーリング調査結果

敷地内 6ヶ所のボーリング調査結果を地層別に区分すると、卷末の「土層断面想定図」となる。

この結果より地層別に分類し、その特徴についてまとめると表4-1-1のようになる。

表 4-1-1 地 層 区 分

時 代	地 相 層 当	主な土質名	地層 記号	N 値	記 事
現 世	-	埋 土	Ts	25~47	暗黄褐色。砂質土を主体とし、全体に瓦礫を混入する。層厚は2m前後に堆積し、N値25~47と瓦礫を混入するためか高い。
沖 積 世	沖 積 砂 質 土 層	細 砂	As	9~50以上	暗青灰、暗緑灰色。砂質土を主体として上部に少量シルトを介在、混入する。また、部分的に礫、貝殻を混入する。層厚は10~13mと厚く、N値は9~50以上と変化が大きい。
洪 積 世	洪積砂礫層	砂 磯 礫混り中細砂	Dsg	50以上	暗黄褐色。砂礫、礫混じり中細砂を主体とする。礫径は2~60mmの亜円礫が、混入・介在している。また、上限深度は、TP-8~-10m付近に存在し、地層が水平に堆積していると考えられる。N値は50以上と非常に締まった地盤である。

4-2. 地下水について

ボーリング時に確認された孔内水位は、ボーリング掘削後に孔内を洗浄し、落ち着いた時の水位を測定した。その結果を表4-2-1に記述した。

表4-2-1 ボーリング時の孔内水位

ボーリングNO.	孔内水位 (m)	
	GL-	TP+
1	2.65	1.95
2	2.15	2.46
3	2.12	2.50
4	1.90	2.72
5	1.55	2.85
6	2.30	2.30

表4-2-1より、孔内水位はTP+1.9~+2.9mと浅い深度に存在した。また、当敷地は、埋立て地に当たり砂質地盤であることから潮の干満の影響を受けやすく時間により変動することが考えられる。

4-3. 現場透水試験

調査孔において実施した現場透水試験の結果は、表4-3-1に示す通りである。

表 4-3-1 現場透水試験結果

孔番	試験深度 GL- (m)	土質名	地層 区分	平衡水位 (m)		透水係数 k(cm/s)
				現状GL	TP	
1	5.00 ~5.45	礫混り細砂	As	-2.65	+1.95	4.84×10^{-2}

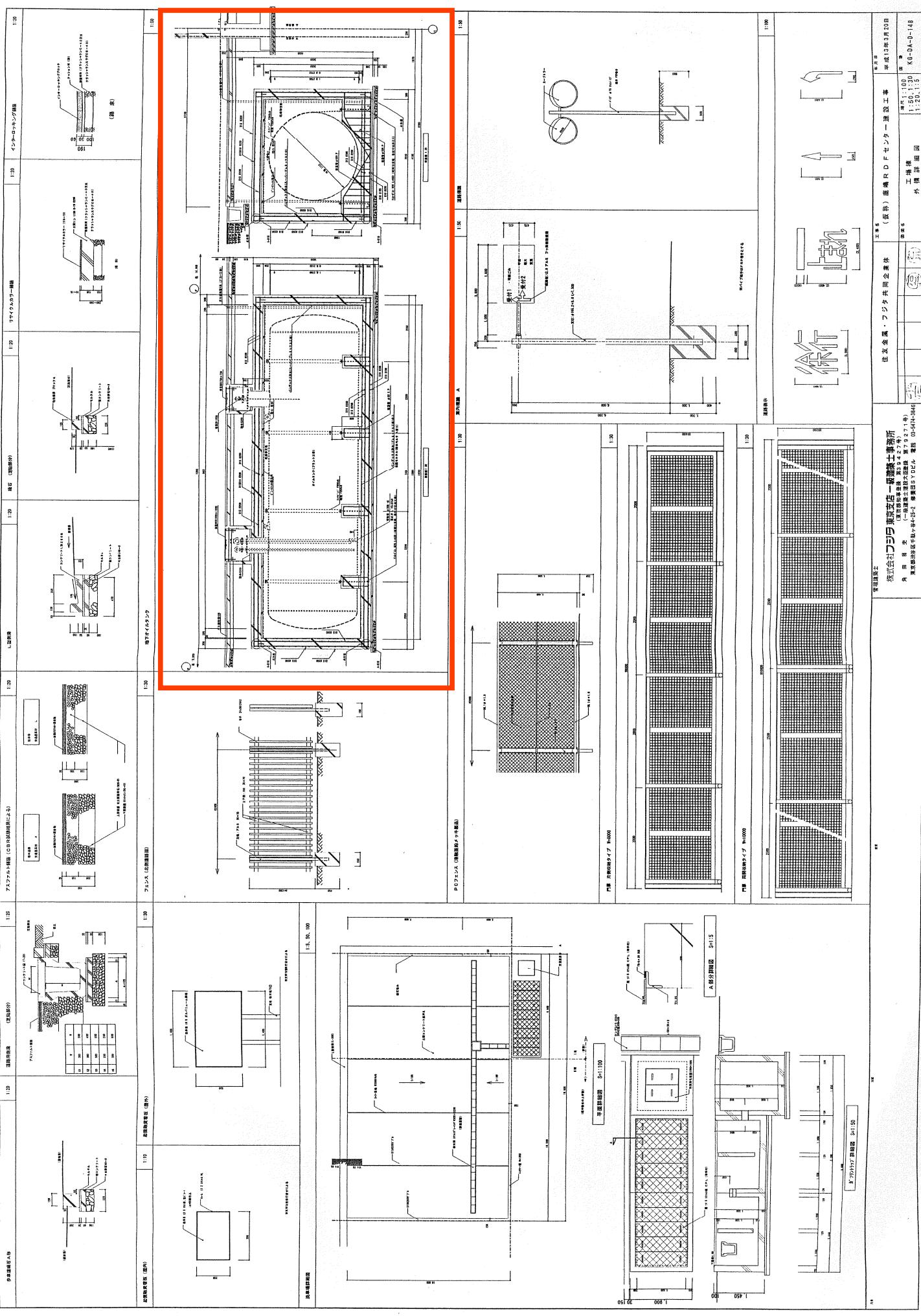
沖積砂質土層(As)の透水係数(k)は、 $4.84 \times 10^{-2} \text{ cm/s}$ と表4-3-2より中位の透水度となる。

また、平衡水位は、TP+1.95m(GL-2.65m)と浅い深度に確認され、透水性のよい砂質地盤が全体を占めることから、自由地下水(不圧水)と考えられる。また、4-2の地下水について述べたように、埋立て地に当たり潮の干満の影響を受けやすく時間により変動することが予想され、注意を要する。

表 4-3-2 土質別の透水係数概略値

透水度	透水係数の範囲 k (cm/s)	土質
高い	10^{-1} 以上	礫
中位	$10^{-1} \sim 10^{-3}$	粗砂、中砂、細砂
低い	$10^{-3} \sim 10^{-5}$	微粒砂、シルト質細砂、軟らかいシルト
極めて低い	$10^{-5} \sim 10^{-7}$	硬いシルト、粘土質シルト、粘土
不透水	10^{-7} 以下	完全な均質な粘土

広域鹿嶋 RDF センター解体撤去工事
地下タンク図



株式会社フジラボ研究所支店 一般建築土木事務所
外構・屋外施設
〒152-0033 東京都渋谷区渋谷1丁目2番7号
電話番号 03-5461-2446
FAX 03-5461-2447

平成13年3月20日
午後1時10分
K-D-A-0-148
1:50:1:5
1:20:1:5

